

消 防 年 報

2024年度版
(2025年刊行)



四街道市消防本部

Yotsukaido Fire Department

は じ め に

この消防年報は、令和 7 年 4 月 1 日現在における四街道市の消防の現況及び令和 6 年度中の消防業務に関する事項を統計的に収録し、消防体制の充実と市民の消防・防災に対する期待に応えるため、

「未来へ繋ぐ 安全・安心の街 四街道」を目指す消防行政の基礎データとして役立てるとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

統計は、原則として暦年をもってあらわし、一部については会計年度としました。

令和 7 年 6 月

四街道市消防本部

目 次

概 要 編

四街道市市民憲章	1
四街道市の位置と地勢	2
人口・世帯数の推移	2
総括表（その１）	3
総括表（その２）	4
消防のあゆみ	5
過去の特異火災等	14

地区別火災発生状況	35
原因別火災件数	36
火災被害状況	37
危険物施設数推移	38
危険物施設の事務処理状況	38
査察（危険物施設）	39
四街道市危険物安全協会	40
四街道市女性防火クラブ	40

総 務 編

組織と機構	16
消防庁舎等の状況	17
消防本部事務分掌	18
消防署事務分掌	21
階級別消防職員数	23
階級別消防職員配置状況	23
階級・年齢別消防職員構成	24
階級・勤続年数別消防職員構成	25
職員研修状況	26
公務災害発生状況	27
消防職員表彰状況	27
一般会計予算と消防費予算の比率	28
年度別消防費（当初）節別内訳	29

予 防 編

防火対象物の現況	30
建築同意の内訳	30
消防用設備等届出状況	31
各種届出状況	31
火災出動件数・火災件数	32
月別火災件数	33
時間別火災件数	34

警 防 編

救急業務	41
救急隊員の状況	41
救急資格（要件）別職員数	41
救急隊員が実施した応急処置状況	42
署所別救急出動件数及び搬送人員	43
年別救急出動件数及び搬送人員	44
月別救急出動件数及び搬送人員	45
曜日別救急出動件数	46
時間別救急出動件数	47
地区別救急出動件数	48
年齢別・性別救急搬送人員	49
年齢区分別・傷病程度別 救急搬送人員	50
現場到着所要時間別出動件数	51
病院収容所要時間別出動件数	51
ドクターヘリ	52
ドクターヘリ出動状況	52
ドクターヘリ離着陸場	52
ラピッドカー	53
ラピッドカー出動状況	53
応急手当の普及啓発活動	54
応急手当の種別	54

救命講習実施状況	54
救助業務	55
救助隊員の状況	55
救助隊員の訓練実施状況	55
救助出動件数	56
要救助者の状況	56
指輪切断件数	56
その他出動件数	57
各種業務出動状況	57
空気（酸素）呼吸器及び 空気（酸素）ボンベ保有状況	58
消防ホース保有状況	58
消防車両配置状況	59
消防水利	60
消防応援協定	61

指令編

ちば消防共同指令センターの概要	63
消防通信指令施設の現況	64
覚知別受信状況	66
問合せ	66
その他	66
口頭指導状況	67
四街道市の応受援状況	67

消防団編

消防団各方面隊	68
階級別消防団員数	69
年齢階層・階級別消防団員数	69
分団・在職年数別消防団員数	69
職業別消防団員数	70
消防団管轄区域	70

消防団員年額報酬	71
消防団員出動報酬	71
消防団出動状況	71
消防団員表彰状況	71
消防団詰所の状況	72
消防団車両配置状況	72

出前講座編

生涯学習まちづくり出前講座 (消防関係 3 講座)	73
生涯学習体験	73
教育実習等受入状況	73

概要編

四街道市市民憲章

私たちは、みどりと太陽に恵まれた四街道市民です。

おたがいに力をあわせてこの憲章を守り、住みよい豊かな
のびゆくまちをつくりましょう。

1 私たちは道徳を守り、

文化的なまちをつくりましょう。

1 私たちはスポーツを愛し、

すこやかなまちをつくりましょう。

1 私たちはみどりを愛し、

樹木や花の多いきれいなまちをつくりましょう。

1 私たちは老人と子供をいたわり、

心豊かなまちをつくりましょう。

1 私たちは創意と工夫をもって、

あかるいまちをつくりましょう。

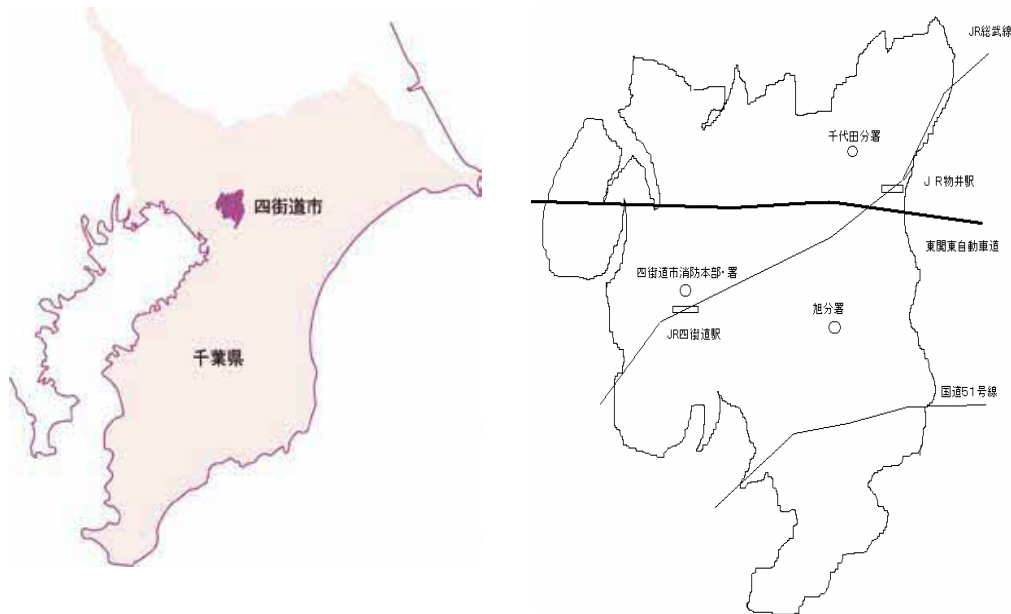


市の花「サクラソウ」



市の木「サクラ」

四街道市の位置と地勢



四街道市は千葉県の北西部に位置し、県都千葉市へ8キロメートル、都心へ40キロメートルの圏内にあり、広域幹線道路の国道51号線、東関東自動車道が縦断し、千葉市、佐倉市に隣接しています。

市域は東西約7キロメートル、南北約9キロメートル、面積は、34.52平方キロメートルです。

昭和30年（1955年）3月、千代田町と旭村が合併し四街道町が誕生。当時の人口は18,014人（国勢調査）でした。昭和40年代前半から旭ヶ丘グリーンタウン、千代田団地、みそら団地などの大型団地が誕生し、首都圏のベッドタウンとして急速に人口が増加するとともに、自然と都市機能が調和したまちとして成長してきました。昭和56年（1981年）4月、市制が施行され新たな歩みを始めました。

人口・世帯数の推移

（4月1日時点）

年別	区分	世帯数	人 口			人口密度 (人/ k m ²)
			男	女	計	
令和3年		42,486	47,775	47,726	95,501	2,767
令和4年		43,007	47,957	48,026	95,983	2,781
令和5年		43,466	48,120	48,065	96,185	2,786
令和6年		44,065	48,288	48,142	96,430	2,793
令和7年		44,614	48,285	48,086	96,371	2,792

総 括 表 (その1)

区分	年別	令和6年4月1日	令和7年4月1日	前年比
面 積 (k m ²)		34.52	34.52	-
国 調 人 口 (人) ※1		93,576	93,576	-
常 住 人 口 (人)		96,430	96,371	△59
世 帯 数		44,065	44,614	549
消 防 本 部		1	1	-
消 防 署		1	1	-
分 署		2	2	-
消 防 職 員 数 (女 性 職 員)		117 (6)	121 (6)	4
本 部 (女 性 職 員)		25 (1)	27 (1)	2
消防署・分署 (女性職員)		92 (5)	94 (5)	2
消 防 職 員 平 均 年 齢 ※2		35.7	36.7	1.0
分 団 数		16	16	-
消防団員数 (女性団員)		224 (16)	238 (23)	14
消 防 団 員 平 均 年 齢		46.8	46.6	△0.2
火 災 件 数 ※3		34	26	△8
建 物 火 災		18	12	△6
損 害 額 (千 円)		46,779	112,245	65,466
建物焼損床面積 (m ²)		822	837	15
死 傷 者 数 (死 者)		3 (1)	7 (1)	4
出火率 (1万人あたり)		3.6	2.7	△0.9
救 急 出 動 件 数 ※3		5,456	5,469	13
急 病		3,715	3,595	△120
交 通 事 故		301	288	△13
救 助 出 動 件 数 ※3		71	80	9
要 救 助 者		39	37	△2
防 火 対 象 物		1,696	1,714	18
5 階 以 上		62	62	-
危 険 物 施 設 数		102	104	2
消 火 栓	150 mm 以 上	429	430	1
	150 mm 未 満	470	471	1
防 火 水 槽	40 m ² 以 上	337	343	6
	40 m ² 未 満	59	57	△2
そ の 他 の 消 防 水 利		15	15	-
計		1,310	1,316	6

※1 国調人口は、令和2年実施の国勢調査のデータである。

※2 消防職員平均年齢は、再任用職員を除くデータである。

※3 各種出動に関するデータは、1月1日～12月31日までの合計である。

総 括 表 (その2)

区分	年別	令 和 6 年 4 月 1 日		令 和 7 年 4 月 1 日		前年比
		消防本部・署	消 防 団	消防本部・署	消 防 団	
消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	7	1	7	-
水槽付消防ポンプ自動車(非常用)		4 (1)		4 (1)		-
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1		1		-
屈折はしご付消防ポンプ自動車		1		1		-
小型動力ポンプ付水槽車		1		1		-
救 助 工 作 車		1		1		-
後 方 支 援 車		1		1		-
高規格救急自動車(非常用)		5 (1)		5 (1)		-
小型動力ポンプ付積載車			10		10	-
司 令 車			1		1	-
司令車 (多機能車)			1		1	-
指 揮 統 制 車		1		1		-
査 察 車		1		1		-
そ の 他 の 車 両		6		6		-
計		23 (2)	19	23 (2)	19	-

移 動 局	61	2	61	2	-
車 載 型	25	2	25	2	-
携 帯 型	34		34		-
携 帯 型 (可 搬)	1		1		-
携 帯 型 (卓 上)	1		1		-
活 動 用 無 線 局	63	123	63	123	-
携 帯 型	63	45	63	45	-
携 帯 型 (可 搬)		1		1	-
ト ラ ン シ ー バ ー		77		77	-
受 令 機	3	17	3	17	-

区分	年度別	令和6年度	令和7年度	前年比
消 防 費 (当 初 予 算) (千円)		1,266,514	1,524,535	258,021
市会計全体に占める割合 (%)		3.5	4.2	0.7
市 民 1 人 あ た り (円)		13,134	15,819	2,685
1 世 帯 あ た り (円)		28,742	34,172	5,430

高 速 道 路 管 轄 距 離	四街道－千葉北 (上り)	5.8km
東関東自動車道 (上下線方式)	四街道－佐 倉 (下り)	5.4km

消 防 の あ ゆ み

昭和30年 (1955年)	5月	旧千代田町消防団、旧旭村消防団及び旧市街地組合消防団（市街地地域の消防団）が統合し、四街道町消防団となる。 編成は、旧旭村消防団を第1支団、旧千代田町消防団を第2支団、旧市街地組合消防団を第3支団とする。
		本部位置は、旧市街地組合消防団本部とする。
		団員定数を800名とする。
		初代消防団長に根本貢氏が就任する。
	11月	第2代消防団長に入江元氏が就任する。
昭和32年 (1957年)	5月	第3代消防団長に神保一美氏が就任する。
昭和34年 (1959年)	5月	第4代消防団長に花島正氏が就任する。
昭和35年 (1960年)	4月	団員定数を446名とする。
昭和38年 (1963年)	3月	支団制を解き分団に統合、16分団制とする。
	8月	第5代消防団長に古川良一氏が就任する。
昭和39年 (1964年)	1月	タンク車を購入・配置し「タンク車班」が発足する。（10名編成）
昭和40年 (1965年)	10月	消防団第4分団詰所が新築落成する。
昭和41年 (1966年)	10月	消防団第10分団詰所が新築落成する。
	12月	消防団第4分団にポンプ自動車を1台購入・配置する。
昭和42年 (1967年)	3月	(財)千葉県消防協会会長「千葉県消防協会表彰旗」受章
	10月	「消防団常備部」が発足する。(職員10名採用)
		消防団常備部員(職員10名)を千葉市消防本部千葉消防署へ合宿実地研修に派遣する。
		消防団第9分団詰所が新築落成する。
	12月	消防団常備部が消防業務を開始する。
		消防団常備部にポンプ自動車を1台購入・配置する。
昭和43年 (1968年)	1月	消防団常備部長に副団長山崎清氏が就任する。
		消防団常備部に指令室を増築する。(9.72㎡)
	3月	千葉県知事「優良表彰旗」受章
昭和44年 (1969年)	10月	消防団第8分団詰所が新築落成する。
	4月	各分団員定数を20名（13分団は、定数15名）とし、「タンク車班」を「常備協力班」と改名し、定数10名とする。
	10月	消防団第16分団詰所が新築落成する。
	11月	大日大作岡地区に第17分団を設置し(17分団制)定数15名を以って発足す
		消防団常備部に超短波無線局を開設する。(周波数152.81MHz、出力5W、基地局1、移動局2)
昭和45年 (1970年)	12月	消防団第2分団にポンプ自動車1台を購入・配置する。
		「四街道町草刈条例」を制定する。
	1月	消防団常備部に待機室を増築する。(11.57㎡)
	5月	消防団常備部に救急車用車庫を増築する。(29.20㎡)
	7月	消防団常備部が、大多喜町に災害復旧作業に応援出動する。(部長以下5名)
		消防団第17分団に可搬動力ポンプ1台を配置する。
		消防団常備部に風向風速計を購入・配置する。

昭和45年 (1970年)	12月	消防団第5分団詰所が新築落成する。
		消防団常備部に携帯無線機2基を購入・配置する。
		消防団第3分団にポンプ自動車1台を購入・配置する。
		救急車において無線運用を始める。
		生命保険協会から救急車の寄贈を受け、消防団常備部に配置する。
		消防団常備部が独自の救急業務を開始する。
昭和46年 (1971年)	3月	千葉県知事「優秀表彰旗」受章
	4月	消防団常備部を改組し、消防本部及び消防署を設置する。
		職員定数を30名(実員22名)とする。
		初代消防長に清宮兵之助氏が就任する。(町長による消防長事務取扱い)
	9月	第2代消防長に古川良一氏が就任する。
		第6代消防団長に長谷川功氏が就任する。
		消防署に消防ポンプ自動車及び化学消防ポンプ自動車1台を購入し、配置する。
	10月	日本道路公団から救急車の寄贈を受け、消防署に配置する。
昭和47年 (1972年)	11月	新消防庁舎の建設工事に着手する。
	12月	消防団第3分団詰所が新築落成する。
	2月	消防団が(財)日本消防協会会長「団旗竿頭綬」受章
	4月	職員定数を40名(実員29名)とする。
		消防本部・消防署の合同庁舎が新築落成する。(四街道町鹿渡熊ヶ谷台934-26)
		テレビ監視装置を設置する。
		麻生工業(株)から指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置する。
	8月	救急業務実施市町村の政令指定を受け、救急業務を開始する。
		平和産業(株)から連絡車の寄贈を受け、消防本部に配置する。
昭和48年 (1973年)	9月	消防本部の指導により「四街道町危険物安全協会」が発足する。
	3月	消防団第2分団詰所が新築落成する。
	4月	消防団本部分団(旧「常備協力班」)を改名し、第18分団として発足する。(18分団制)
		団員定数を354名とする。
	8月	第1回消防団操法大会を開催する。 (優勝:ポンプ自動車の部・第2分団、小型ポンプの部・第15分団)
	12月	消防団第1分団・第11分団詰所が新築落成する。 消防署にはしご付消防ポンプ自動車(18m級)1台を購入し、配置する。
昭和49年 (1974年)	8月	消防署に自家用給油取扱所を設置する。
	10月	地震対策用40㎡級防火水槽の設置事業に着手する。
		消防団第15分団詰所が新築落成する。
昭和50年 (1975年)	9月	第7代消防団長に勝山衛氏が就任する。
	10月	消防団第17分団詰所が新築落成する。
昭和51年 (1976年)	1月	千葉県共済農業協同組合連合会から救急車(2B型)の寄贈を受け、消防署に配置する。
	7月	消防団全分団に無線受信機の設置を完了する。
	10月	消防団第6分団詰所が新築落成する。
昭和52年 (1977年)	3月	消防団が(財)日本消防協会会長「表彰旗」受章
	9月	第1回四街道町総合防災訓練(於県立四街道高等学校)に参加する。
	10月	消防団全分団への小型動力ポンプ専用積載車の整備を開始する。 消防団第12分団詰所が新築落成する。

昭和52年 (1977年)	11月	消防団第7分団詰所が新築落成する。
	12月	消防本部機構を庶務課及び消防課の2課体制に、消防署機構を1署1分署体制にそれぞれ強化する。
		職員定数を75名（実員66名）とする。
		千代田分署に職員21名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車(2B型) 1台及び連絡車1台を配置し、業務を開始する。
		消防団第14分団詰所が新築落成する。
		四街道ライオンズクラブから赤バイ1台の寄贈を受け、消防署に配置する。
昭和53年 (1978年)	2月	日本自動車工業会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け、消防署に配置する。
	9月	消防団第13分団詰所が新築落成する。
	10月	消防署千代田分署に自家用給油取扱所を設置する。
	12月	消防団第18分団詰所が新築落成する。
昭和54年 (1979年)	3月	消防本部に消防救急一斉指令装置及び総合自動気象観測装置を設置する。
昭和55年 (1980年)	3月	消防庁長官「竿頭綬」受章
	7月	消防本部の指導により、「四街道町防火指導員」が44名で発足する。
		消防本部機構を3課1室9係体制に改正強化する。 庶務課（庶務係、企画広報係、経理係） 予防課（指導係、調査係、危険物係） 警防課（警防係、機械係） 指令室（指令係）
		消防団全分団への小型動力ポンプ専用積載車の整備を完了する。
		新東京国際空港公団から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、消防署に配置する。
昭和56年 (1981年)	10月	職員定数を90名（実員69名）とする。
	4月	市制施行に伴い、「四街道町消防本部」を「四街道市消防本部」に、「四街道町消防団」を「四街道市消防団」にそれぞれ名称変更する。
	9月	日本消防協会から救急車（2B型）1台の寄贈を受け、消防署に配置する。
	11月	消防署旭分署に自家用給油取扱所を設置する。
	12月	消防署機構を1署2分署体制に改正強化する。 職員定数を92名（実員92名）とする。 旭分署に職員21名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車(2B型)1台及び連絡車1台を配置し、業務を開始する。
昭和57年 (1982年)	8月	消防署に小型動力ポンプ付水槽車（10m ³ ）1台を購入し、配置する。
昭和58年 (1983年)	5月	四街道ロータリークラブから原付バイク2台の寄贈を受け、千代田分署及び旭分署に配置する。
昭和59年 (1984年)	12月	職員定数を95名（実員91名）とする。
昭和60年 (1985年)	2月	消防署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）1台を購入し、配置する。
	5月	第7回千葉県消防音楽隊フェスティバルが当市文化センターで開催される。
	9月	第1回四街道市総合防災訓練（於四街道小学校）に参加する。 「四街道市消防音楽隊」が隊員数23名（兼務）で発足する。
	10月	消防本部機構を4課11係体制に改正強化する。 総務課（庶務係、企画広報係、経理係）

昭和60年 (1985年)	10月	予防課（指導係、調査係、危険物係） 警防課（指導係、警防係、機械係） 指令課（通信管理係、情報係）
	12月	消防署に電源照明付救助工作車（Ⅱ型）1台及び救急車（2B型）1台を購入し、配置する。
昭和61年 (1986年)	4月	第3代消防長に鈴木均氏が就任する。
	5月	「四街道市消防の歌」を制定する。
	9月	第7回六都県市合同防災訓練が、千葉県メイン会場として県立四街道高等学校で実施される。 消防署の自家用給油取扱所を改修設置する。
	10月	四街道市婦人消防隊（セイコー光機）が第2回全国婦人消防操法大会に出場する。
昭和62年 (1987年)	1月	消防本部予防課に原因調査車1台を購入し、配置する。
	8月	日本消防協会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け、千代田分署に配置する。
	11月	千代田分署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
昭和63年 (1988年)	3月	消防本部・消防署合同庁舎に自家発電設備（30KVA）を設置する。
	4月	職員定数を100名（実員99名）とする。 第8代消防団長に岡本唯三氏が就任する。
平成元年 (1989年)	1月	千代田分署に自家発電設備（20KVA）を設置する。
	9月	旭分署に救急車（2B型）1台を購入し、更新配置する。
	12月	旭分署に自家発電設備（20KVA）を設置する。 消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
平成3年 (1991年)	2月	消防団全分団に車載型無線受令機の整備を完了する。
	4月	職員定数を106名（実員102名）とする。
	10月	消防署に救急車（2B型）1台を購入し、更新配置する。
	12月	消防本部・消防署合同庁舎に変電設備（80KVA）を設置する。
平成4年 (1992年)	3月	消防署に化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台を購入し、更新配置する。
	7月	鷹の台3丁目15番2号に消防用地（1,500.06㎡）を確保する。
平成5年 (1993年)	1月	旭分署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
	4月	職員定数を112名（実員109名）とする。 第9代消防団長に深澤健作氏が就任する。
	11月	旭分署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台を購入し、更新配置する。
平成6年 (1994年)	1月	旭分署に屈折はしご車(15m級)1台を購入し、更新配置する。
	4月	第4代消防長に齋藤孝一氏が就任する。 第9代消防団長に深澤健作氏が就任する。 「四街道市消防資料館」を開設する。
	11月	当市初の「救急救命士」が誕生する。
平成7年 (1995年)	4月	消防署に初の高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。 救急救命士による救急業務を開始する。
平成8年 (1996年)	4月	第5代消防長に伊藤晃氏が就任する。
		消防本部機構を4課12係制に、消防署(分署を除く)の機構を8係制にそれぞれ改正し、救急体制を強化する。(消防本部警防課警防係から救急関係事務を分離独立させて救急係を、消防署警防第1・2係から救急関係事務を分離独立させて救急第1・2係をそれぞれ設置する。)

平成8年 (1996年)	4月	総務課（庶務係、企画広報係、経理係） 予防課（指導係、調査係、危険物係） 警防課（指導係、警防係、救急係、機械係） 指令課（指令第1係、指令第2係） 消防署 （庶務第1係、予防第1係、警防第1係、救急第1係） （庶務第2係、予防第2係、警防第2係、救急第3係）
	10月	消防組織法改正により、「四街道市消防職員委員会」を設置する。
	11月	千代田分署及び旭分署に現場指揮車各1台を購入し、配置する。
	12月	消防署に運搬車1台を購入し、更新配置する。
		消防本部警防課に人員輸送車1台を購入・配置(旭分署)する。 和良比635番地の1に消防用地（4,622.74㎡）を確保する。
平成9年 (1997年)	1月	消防本部警防課に現場指揮統制車1台を購入し、配置する。
	3月	消防本部予防課に原因調査車1台を購入し、更新配置する。
	7月	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台の寄贈を受け、消防団第13分団に更新配置する。
	9月	消防本部総務課及び警防課に指令広報車各1台を購入し、更新配置する。
	10月	四街道ライオンズクラブから液晶ビデオ映写機一式の寄贈を受け、消防本部総務課に配置する。
平成10年 (1998年)	2月	第39回千葉県消防職員意見発表会が当市文化センターで開催される。
平成11年 (1999年)	2月	千代田分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	3月	日本消防協会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け、旭分署に更新配置する。
	4月	消防本部指令課に消防緊急通信指令施設を更新設置する。
		消防本部警防課の機構を改正し、救助体制及び消防団事務執行体制を強化する。（指導係を廃止し救急係を救急救助係に改め、消防団係を新設する。） 警防課（警防係、救急救助係、機械係、消防団係）
平成12年 (2000年)	2月	千代田分署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
	3月	消防庁長官「表彰旗」受章
	4月	第6代消防長に大野宇一氏が就任する。
		第10代消防団長に大川武博氏が就任する。
	9月	第22回千葉県消防音楽隊フェスティバルが当市文化センターで開催される。
平成13年 (2001年)	2月	和良比消防用地の隣接地（869.78㎡）を取得（登記）し消防用地を拡張する。（総面積5,492.52㎡）
	3月	和良比消防用地の隣接地（246.74㎡）を都市部土木課から引継ぐ。（総面積5,739.26㎡）
		消防署に救助工作車（Ⅱ型）1台を購入し、更新配置する。
	4月	第11代消防団長に眞道信雄氏が就任する。
平成14年 (2002年)	3月	消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
		(社)日本損害保険協会から高規格救急自動車1台の寄贈を受け、旭分署に更新配置する。
平成15年 (2003年)	3月	千代田分署に小型動力ポンプ付水槽車（5㎡）1台を購入し、更新配置する。
	4月	第7代消防長に中臺茂樹氏が就任する。

平成15年 (2003年)	4月	消防本部総務課の機構を改正し（庶務係を総務係に改め）、消防署(分署を含む)の機構を係制から班制に改正強化する。 総務課(総務係、企画広報係、経理係) 消防署 （総務第1班、予防第1班、警防第1班、救急第1班） （総務第2班、予防第2班、警防第2班、救急第2班） 千代田分署及び旭分署 （総務第1班、予防第1班、警防第1班） （総務第2班、予防第2班、警防第2班）
平成16年 (2004年)	2月	消防署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	3月	消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し、更新配置する。
平成17年 (2005年)	1月	消防署にはしご付消防自動車（30m級）1台を購入し、更新配置する。
	4月	第8代消防長に小林昭五氏が就任する。 緊急消防援助隊に消火部隊（1隊）を登録する。 当市初の女性消防団員（4名）を任命する。
	10月	航空機事故消火救難総合訓練（第24回：成田市）に初参加する。
	11月	携帯電話からの119番通報直接受信を開始する。
平成18年 (2006年)	2月	日本消防協会から司令車1台の寄贈を受け、配置(消防団本部)する。
	3月	消防本部警防課に後方支援車1台を購入し、配置(旭分署)する。 旭分署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-B型）1台を購入し、更新配置する。
	4月	緊急消防援助隊に後方支援隊（1隊）を登録する。
	9月	第27回八都県市合同防災訓練が、千葉県メイン会場として県立四街道高等学校で実施される。
	11月	旭分署に消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）1台を購入し、更新配置する。
	12月	消防本部警防課に指揮支援車1台を購入し、更新配置する。
平成19年 (2007年)	2月	千葉県消防広域応援隊合同訓練（第1回：千葉県消防学校）に参加する。 消防本部予防課に原因調査車1台を購入し、更新配置する。
	4月	市の組織・機構の再編に伴い、消防本部指令課を消防署に統合して消防本部機構を3課とし、消防本部についてはグループ制を採る。 総務課（総務グループ、企画管理グループ） 予防課（予防グループ、調査グループ） 警防課（警防グループ、救急救助グループ） 消防署 （指令第1班、総務第1班、予防第1班、警防第1班、救急第1班） （指令第2班、総務第2班、予防第2班、警防第2班、救急第2班） 千代田分署及び旭分署 （総務第1班、予防第1班、警防第1班） （総務第2班、予防第2班、警防第2班）
	10月	消防本部警防課に指令広報車1台を購入し、更新配置する。 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（群馬県前橋市）に初参加する。
	11月	東関東自動車道及び新空港自動車道消防協議会合同訓練（第1回：市原市）に参加する。

平成20年 (2008年)	6月	四街道市消防団（第2分団）が第28回印旛支部消防操法大会ポンプ車の部にて優勝する。
	7月	四街道市消防団（第2分団）が第44回千葉県消防操法大会に出場する。
	9月	四街道市消防本部が「千葉県救急医療功労者表彰」を受章
平成21年 (2009年)	3月	旭分署に屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）1台を購入し、更新配置する。
	4月	第9代消防長に川村雅敏氏が就任する。
	5月	第12代消防団長に塚本正英氏が就任する。
	12月	千代田分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
平成22年 (2010年)	2月	消防団第11分団詰所を鹿渡698 - 36へ移転する。
	3月	消防署に消防緊急通信指令施設を更新設置する。
平成23年 (2011年)	2月	旭分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	3月	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊千葉県隊として、消火隊・後方支援隊として出動する。（岩手県陸前高田市）
	4月	第10代消防長に能城俊一氏が就任する。
平成24年 (2012年)	2月	消防本部総務課に指令車1台を購入し、更新配置する。
	3月	千代田分署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-B型）1台を購入し、更新配置する。
		「四街道市消防資料館」を閉館する。
	4月	消防署に指揮隊を発足させる。 消防本部予防課（調査グループを査察指導グループに改め）及び消防署（班制からグループ制に改め）の機構を改正強化する。 予防課（予防グループ、査察指導グループ） 消防署 （指揮指令1グループ、総務1グループ、予防1グループ、警防1グループ、救急1グループ） （指揮指令2グループ、総務2グループ、予防2グループ、警防2グループ、救急2グループ） 千代田分署及び旭分署 （総務1グループ、予防1グループ、警防1グループ） （総務2グループ、予防2グループ、警防2グループ）
平成25年 (2013年)	3月	消防署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
		四街道市消防音楽隊を廃止する。
	4月	県内北東部、南部の20消防本部の指令業務を共同化し千葉市消防局7階に「ちば消防共同指令センター」を設置し、消防救急無線をデジタル波に切替え、運用を開始する。
平成26年 (2014年)	12月	消防団第15分団詰所を亀崎245-1へ移転する。
	1月	消防本部総務課に広報車1台を購入し、更新配置する。 千代田分署に広報車1台を購入し、更新配置する。
平成27年 (2015年)	3月	消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-B型）1台を購入し、更新配置する。
	4月	第11代消防長に橋本政美氏が就任する。 団員定数を300名とする。
平成28年 (2016年)	3月	千代田分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	4月	第12代消防長に飯田和進氏が就任する。

平成28年 (2016年)	10月	旭分署に広報車1台を購入し、更新配置する。	
平成29年 (2017年)	4月	第13代消防長に林田茂樹氏が就任する。	
	8月	全国消防救助技術大会において、2種目入賞する。	
	11月	総務省消防庁から多機能車1台の貸与を受け、消防団本部に配置する。	
平成30年 (2018年)	3月	消防団第13分団を廃止する。	
	4月	第14代消防長に西岡 亨氏が就任する。	
		市の組織機構改革に伴い、消防本部・署について、グループ制を廃し係制を採る。 消防署警防1・2グループから救助関係事務を分離独立させて、救助一・二係を新たに設置し、組織体制の強化を図る。 総務課（総務係、企画管理係） 予防課（予防係、査察指導係） 警防課（警防係、救急救助係） 消防署 （指揮指令一係、総務一係、予防一係、警防一係、救助一係、救急一係） （指揮指令二係、総務二係、予防二係、警防二係、救助二係、救急二係） 千代田分署及び旭分署 （総務一係、予防一係、警防一係） （総務二係、予防二係、警防二係）	
		7月	四街道市消防団（第2分団）が第38回印旛支部消防操法大会ポンプ車の部にて優勝する。
		8月	四街道市消防団（第2分団）が第54回千葉県消防操法大会に出場し、ポンプ車の部にて優良賞(第3位)を獲得する。
平成31年 (2019年)	3月	消防本部・消防署合同庁舎に女性専用施設を設置する。	
令和2年 (2020年)	4月	第15代消防長に齊藤信行氏が就任する。	
	7月	消防団第2分団詰所を四街道3丁目8-1へ移転する。	
令和3年 (2021年)	3月	消防団第11分団を廃止する。	
	4月	第13代消防団長に河田政実氏が就任する。	
	9月	旭分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。	
	12月	四街道市消防本部50周年記念誌を刊行する。	
消防署に救助工作車（Ⅱ型）1台を購入し、更新配置する。			
令和4年 (2022年)	7月	四街道市消防団（第2分団）が第42回印旛支部消防操法大会ポンプ車の部にて準優勝する。	
		四街道市消防団（第2分団）が第58回千葉県消防操法大会に出場し、ポンプ車の部にて優秀賞（2位）を獲得する。	
		消防団に機能別団員制度を導入する。	
令和5年 (2023年)	1月	日本消防協会から司令車1台の寄贈を受け、消防団本部に更新配置する。	
	3月	消防署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。	
	4月	第16代消防長に粟飯原阿良太氏が就任する。	
		職員定数を123名（実員111名）とする。	
	7月	四街道市消防団（第2分団）が第43回印旛支部消防操法大会ポンプ車の部にて準優勝する。	
		四街道市消防団（第2分団）が第59回千葉県消防操法大会に出場し、ポンプ車の部にて優良賞（3位）を獲得する。	

令和6年 (2024年)	3月	四街道市防火指導員を廃止する。
	4月	四街道市女性防火クラブが、24名で発足する。
	7月	「四街道市消防団応援の店」制度を導入する。
令和7年 (2025年)	2月	総務省消防庁から救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車（3.5 t 未満）1台の貸与を受け、消防団第3分団に配置する。
	4月	第17代消防長に関知晴氏が就任する。
		第14代消防団長に山崎英企氏が就任する。

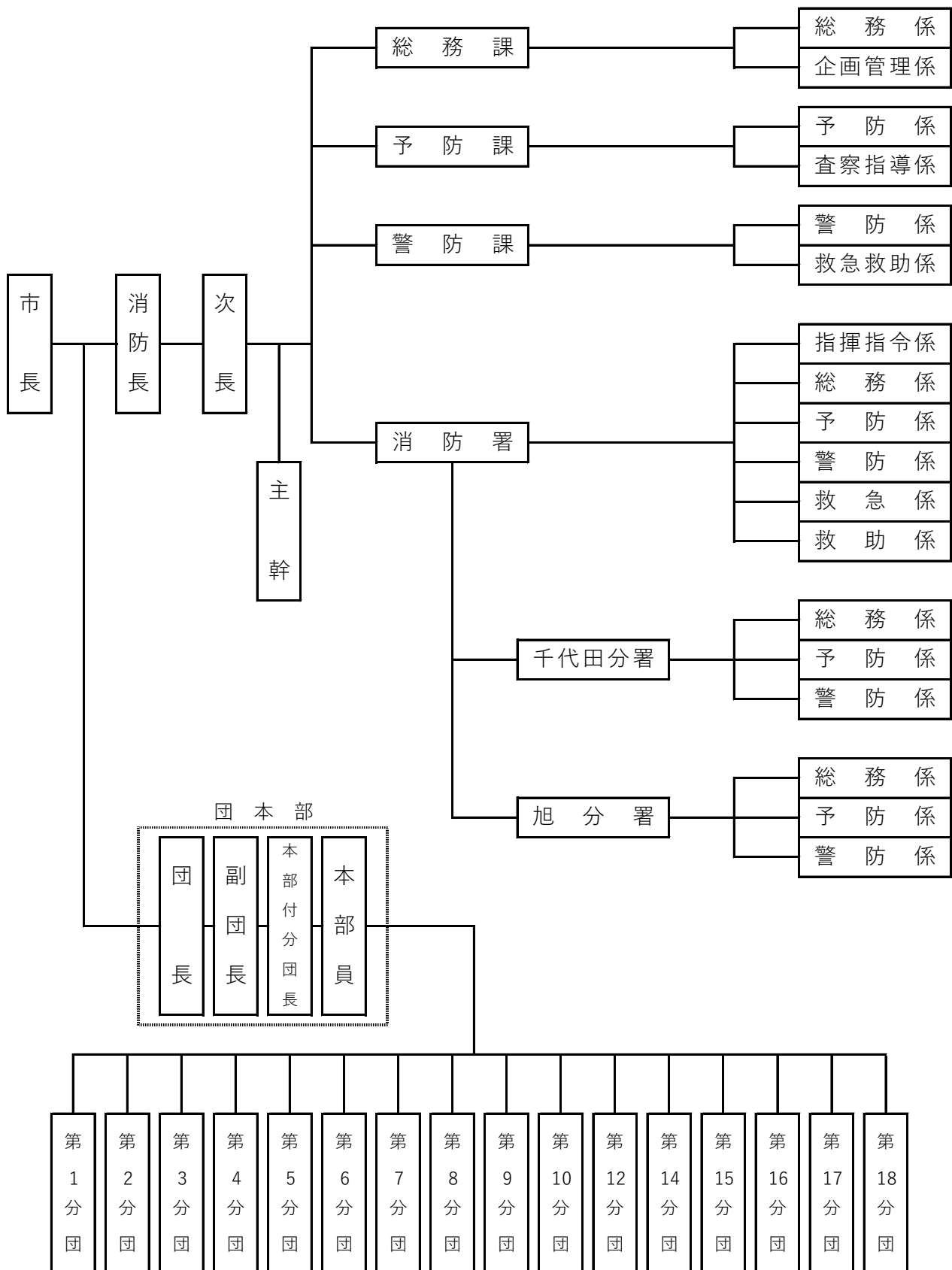
過去の特異火災等

昭和26年 (1951年)	5月25日	鹿渡地区 建物火災 全焼3棟 出動団員370名 焼失面積 約417㎡ 損害額1,000,000円	深夜の住宅火災
	6月16日	鹿渡地区 建物火災 全焼3棟 出動団員480名 焼失面積 約318㎡ 損害額6,000,000円	深夜の倉庫火災
昭和40年 (1965年)	6月16日	鹿渡地区 建物火災 全焼1棟 半焼2棟 焼失面積 約3,762㎡	深夜の共同住宅 延焼火災
昭和44年 (1969年)	3月12日	四街道地区 建物火災 全焼2棟 焼失面積 約395㎡ 損害額9,500,000円	強風時の 住宅延焼火災
昭和47年 (1972年)	5月7日	物井地区 建物火災 全焼3棟 部分焼1棟 焼失面積 約151㎡ 損害額880,000円	作業場から住宅への 延焼火災
	5月22日	鹿放ヶ丘地区 建物火災 全焼1棟 焼失面積 約94㎡	落雷により 発生した火災
昭和48年 (1973年)	12月10日	小名木地区 建物火災 全焼3棟 焼失面積 約876㎡ 損害額12,704,000円	化学工場火災
昭和58年 (1983年)	6月7日	山梨地区 建物火災 全焼1棟 半焼1棟 死者2名 負傷者1名 損害額2,758,000円	時限発火装置 による火災
昭和59年 (1984年)	3月7日	和田地区及び栗山地区 建物火災 和田地区 全焼1棟 焼失面積 約219㎡ 損害額16,547,000円 栗山地区 全焼1棟 死者1名 焼失面積 約72㎡ 損害額11,361,000円	同時多発火災
	8月5日	大日地区 建物火災 全焼3棟 半焼5棟 部分焼2棟 焼失面積 約502㎡	LPガスによる 爆発火災
昭和61年 (1986年)	7月10日	東関東自動車道 車両火災 車両2台全焼 死者4名 負傷者2名 損害額1,568,000円	移動タンク貯蔵所の 炎上
昭和63年 (1988年)	2月16日	四街道地区 建物火災 全焼2棟 部分焼2棟 死者3名 負傷者2名 焼失面積 約302㎡	深夜の共同住宅火災
平成10年 (1998年)	4月11日	和良比地区 建物火災 全焼3棟 部分焼4棟 焼失面積 約316㎡ 損害額32,369,000円	住宅密集地での 住宅延焼火災
	11月15日	大日地区 建物火災 全焼2棟 半焼2棟 部分焼4棟 焼失面積 約255㎡ 損害額42,569,000円	住宅密集地での 住宅延焼火災
平成13年 (2001年)	5月5日	山梨地区 建物火災 全焼1棟 部分焼5棟 死者11名 焼失面積 約1,000㎡ 損害額16,325,000円	深夜の 作業員寄宿舎火災
平成14年 (2002年)	8月24日	鹿放ヶ丘地区 その他の火災 損害額8,386,000円 出動隊員 (消防職員67名、消防団員90名)	古タイヤ約5,000本が 焼失した火災
平成16年 (2004年)	3月17日	大日今宿地区 その他の 火災 産業廃棄物 (木材等) 2,000㎡焼失 出動隊員 (消防職員41名、消防団員39名)	強風時の大規模 産業廃棄物火災
平成20年 (2008年)	2月14日	大日萱橋台地区 建物火災 焼失面積 約865㎡ 損害額262,449,000円 出動隊員 (消防職員34名、消防団員33名)	深夜の 大規模工場火災
平成23年 (2011年)	3月11日	東日本大震災 (東北地方太平洋沖地震) 発生時刻 14時46分 最大震度7 (宮城県栗原市)	四街道市の震度5弱

平成26年 (2014年)	8月11日	吉岡地区 建物火災 焼失面積 約109.09㎡ 損害額1,286,000円 出動隊員 (消防職員42名、消防団員46名)	古民家住宅火災
平成30年 (2018年)	1月2日	大日地区 その他の火災 廃材等2,477㎡焼損 損害額3,385,000円 出動隊員 (消防職員54名、消防団員47名)	鎮火に長時間を要した 産業廃棄物火災
	12月31日	小名木地区 建物火災 全焼1棟 部分焼1棟 死者3名 負傷者3名 焼失面積 約101.43㎡ 損害額25,865,000円	年末における 住宅火災
令和元年 (2019年)	9月9日	台風15号 (令和元年房総半島台風) 出動隊員 (消防職員延べ180名、消防団員延べ65名) 市内出動件数55件	千葉県内に大きな 被害をもたらした台風
	10月12日	台風19号 (令和元年東日本台風) 出動隊員 (消防職員延べ36名、消防団員延べ337名) 市内出動件数70件 (広報等も含む。)	消防職、団員に 全員招集を行った 初めての災害
令和6年 (2024年)	12月17日	南波佐間地区 その他の火災 鎮火12/26 焼失体積 約1064㎡ 損害額15,266,000円 出動隊員 (消防職員延べ343名、消防団員延べ23名)	鎮火に長時間を要した 金属ヤード火災

総務編

組 織 と 機 構



※第13分団（平成30年3月31日）及び第11分団（令和3年3月31日）廃止

消 防 庁 舎 等 の 状 況

消防本部・消防署



〔竣 工〕 昭和47年4月
〔所 在 地〕 四街道市鹿渡934番地26
〔構 造〕 鉄筋コンクリート造3階建て
〔延 べ 面 積〕 873.17㎡
〔敷 地 面 積〕 1,088.44㎡

千代田分署



〔竣 工〕 昭和52年7月
〔所 在 地〕 四街道市千代田5丁目33番地
〔構 造〕 鉄筋コンクリート造2階建て
〔延 べ 面 積〕 487.76㎡
〔敷 地 面 積〕 749.92㎡

旭分署



〔竣 工〕 昭和56年11月
〔所 在 地〕 四街道市みそら1丁目25番地
〔構 造〕 鉄筋コンクリート造2階建て
〔延 べ 面 積〕 516.29㎡
〔敷 地 面 積〕 2,089.38㎡

消防用地（消防訓練場）

〔取 得〕 平成 8年12月（4,622.74㎡）
 平成13年 2月（ 869.78㎡）
 平成13年 3月（ 246.74㎡）
〔所 在 地〕 四街道市和良比635番地1
〔敷 地 面 積〕 5,739.26㎡

消防用地

〔取 得〕 平成 4年7月
〔所 在 地〕 四街道市鷹の台3丁目15番2号
〔敷 地 面 積〕 1,500.06㎡

消 防 本 部 事 務 分 掌

総務課	総務係	消防本部の庶務に関すること。 課の庶務に関すること。 消防本部の総合調整に関すること。 儀式及び消防表彰に関すること。 公印に関すること。 文書及び例規に関すること。 職員の階級、任免、分限、懲戒、服務その他人事に関すること。 職員の人事評価に関すること。 職員の研修、派遣及び教養に関すること。 職員の公務災害に関すること。 職員の衛生及び安全管理に関すること。 職員の福利厚生に関すること。 消防職員委員会に関すること。 消防団員の任免、服務その他身分に関すること。 消防団員の報酬等の支給に関すること。 消防団員の被服等の貸与に関すること。 消防団員の公務災害に関すること。 消防団員の教養訓練及び安全管理に関すること。 消防団の施設及び機器(消防車両を除く。)の管理に関すること。 その他消防団に関すること。 その他他課の所掌に属さない事項に関すること。
	企画管理係	職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。 消防本部の情報化の推進に関すること。 消防本部の会議に関すること。 消防情報及び沿革記録保存等に関すること。 消防長の秘書事務に関すること。 消防長会その他関係諸機関との渉外連絡調整に関すること。 消防報道及び報道機関との連絡に関すること。 消防広報に関すること。 組織、制度及び基本施策の企画調整に関すること。 職員の被服等貸与品の支給に関すること。 職員の給料、諸手当及び旅費の支給に関すること。 財産の管理の総括に関すること。 消防庁舎の管理に関すること。

消 防 署 事 務 分 掌

消 防 署	指揮指令係	消防通信業務に関すること。 火災、救急、救助等の受信及び出動指令に関すること。 災害現場の指揮に関すること。 災害情報の収集及び情報支援に関すること。 気象情報の収集、伝達及び記録統計に関すること。 通信指令設備の維持管理に関すること。 消防通信施設等の整備保全に関すること。 災害時の関係機関との連絡及び通信計画の樹立に関すること。 医療機関の把握に関すること。 消防信号に関すること。 防災行政無線に関すること。 千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会に関すること。 その他消防通信全般に関すること。
	総 務 係	消防署の庶務に関すること。 公印及び物品の維持管理に関すること。 文書管理に関すること。 職員の勤務状況等に関すること。 服務及び教養に関すること。 職員の福利厚生及び公務災害に関すること。
	予 防 係	防火対象物の立入検査に関すること。 火災の調査に関すること。 消防訓練の指導に関すること。 火災予防条例に係る届出に関すること。 その他火災予防に関すること。
	警 防 係	防火対象物の警防調査に関すること。 消防資機材及び装備の維持管理に関すること。 消防水利に関すること。 部隊訓練に関すること。 その他警防に関すること。
	救 助 係	救助資機材及び装備の維持管理に関すること。 特別救助対象物の調査に関すること。 救助訓練に関すること。 その他救助に関すること。
	救 急 係	救急救命に関すること。 救急業務における安全管理及び感染防止に関すること。 救急資器材及び救急薬品の維持管理に関すること。 救急資器材及び救急薬品の維持管理に関すること。 その他救急に関すること。

千代田分署及び旭分署	総務係	分署の庶務に関すること。 物品の維持管理に関すること。 文書管理に関すること。 職員の勤務状況等に関すること。 服務及び教養に関すること。 職員の福利厚生及び公務災害に関すること。
	予防係	防火対象物の立入検査に関すること。 火災の調査に関すること。 消防訓練の指導に関すること。 火災予防条例に係る届出に関すること。 その他火災予防に関すること。
	警防係	防火対象物の警防調査に関すること。 消防資機材及び装備の維持管理に関すること。 消防水利に関すること。 部隊訓練に関すること。 その他警防に関すること。 救急救命に関すること。 救急業務における安全管理及び感染防止に関すること。 救急資器材及び救急薬品の維持管理に関すること。 救急の訓練に関すること。 その他救急に関すること。

階級別消防職員数

(各年4月1日現在)

年度 \ 階級	条 例 定 数	合 計	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
令和 3 年度	112	113 (2)	1	6	26	28 (1)	19		33 (1)
令和 4 年度	112	114 (3)	1	6	27	24 (1)	24		32 (2)
令和 5 年度	123	111 (3)	1	5	21	21 (1)	26		37 (2)
令和 6 年度	123	117 (6)	1	5	21	23 (1)	27		40 (5)
令和 7 年度	123	121 (6)	1	6	18	28 (1)	23		45 (5)

※() 内は女性職員を表す。
※定数外職員を含む、再任用消防職員を除く。

階級別消防職員配置状況

(令和7年4月1日現在)

年度 \ 階級	合 計	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
消 防 本 部	消 防 長	1	1					
	次 長	1		1				
	主 幹	1		1				
	総 務 課	11		1	1	3	3	3
	予 防 課	6		1	1	3	1	
	警 防 課	7		1	2	2	2	
消 防 署	消 防 署	54 (6)		1	6	16 (1)	6	25 (5)
	千 代 田 分 署	20			4	2	7	7
	旭 分 署	20			4	2	4	10
合 計		121 (6)	1	6	18	28 (1)	23	45 (5)

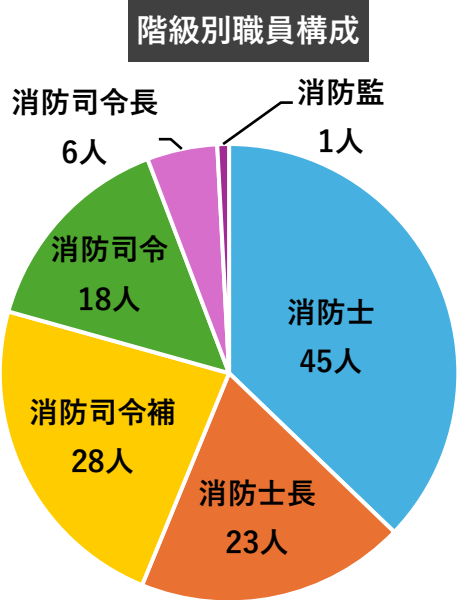
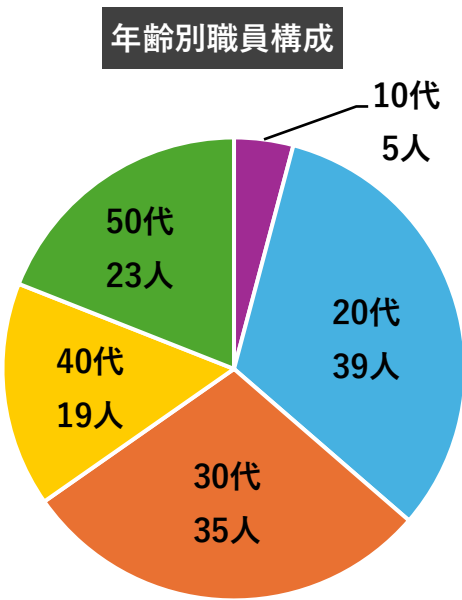
※() 内は女性職員を表す。
※定数外職員を含む、再任用消防職員を除く。

階級・年齢別消防職員構成

(令和7年4月1日現在)

年度 \ 階級	合 計	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
20 歳 未 満	5 (2)							5 (2)
20 歳 ～ 24 歳	27 (2)							27 (2)
25 歳 ～ 29 歳	12 (1)					1		11 (1)
30 歳 ～ 34 歳	17				2	13		2
35 歳 ～ 39 歳	18				10	8		
40 歳 ～ 44 歳	10 (1)			1	9 (1)			
45 歳 ～ 49 歳	9		1	2	5	1		
50 歳 ～ 54 歳	12	1	1	9	1			
55 歳 ～ 59 歳	11		4	6	1			
60 歳 以 上								
合 計	121 (6)	1	6	18	28 (1)	23		45 (5)
平 均 年 齢	35.5	54.0	54.0	52.4	41.0	33.8		23.2

※() 内は女性職員を表す。
 ※定数外職員を含む、再任用消防職員を除く。

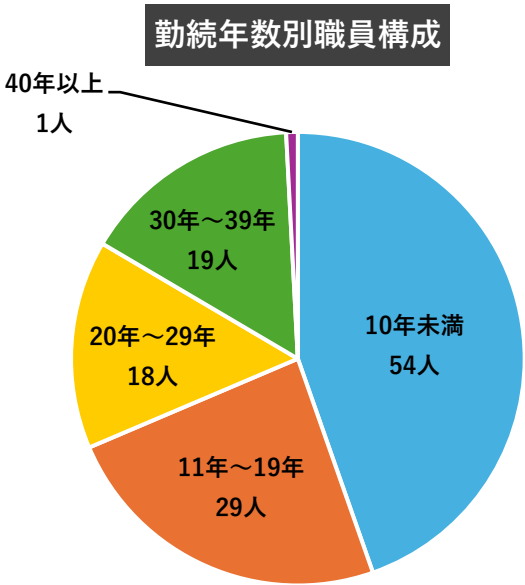


階級・勤続年数別消防職員構成

(令和7年4月1日現在)

勤続年数 \ 階級	合 計	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
1 年 未 満	9							9
1 年 ～ 4 年	24 (4)							24 (4)
5 年 ～ 9 年	21 (1)					9		12 (1)
10 年 ～ 14 年	16				6	10		
15 年 ～ 19 年	13				10	3		
20 年 ～ 24 年	12 (1)			2	10 (1)			
25 年 ～ 29 年	6		1	4		1		
30 年 ～ 34 年	13	1	2	8	2			
35 年 ～ 39 年	6		3	3				
40 年 以 上	1			1				
合 計	121 (6)	1	6	18	28 (1)	23		45 (5)
平均勤続年数	14.1	31.0	33.7	31.3	18.5	11.4		2.8

※() 内は女性職員を表す。
 ※定数外職員を含む、再任用消防職員を除く。



職員研修状況

(令和6年度)

研修			階級	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士
消 防 大 学 校	総合教育	幹 部 科									
	専科教育	警 防 科									
		救 助 科									
		救 急 科									
		予 防 科									
		危 険 物 科									
		火災調査科									
	千 葉 県 消 防 学 校	初任教育	初 任 科	13 (2)							
専科教育		警 防 科	1					1			
		特殊災害科									
		予防査察科	1					1			
		危 険 物 科									
		火災調査科	1						1		
		救 急 科	6						1		5
		救 助 科	2								2
幹部教育		中級幹部科									
特別教育	訓練指導科	2					1	1			
	はしご自動車等講習会	1						1			
その他	指導救命士養成研修 （救急救命九州研修所）										
	大型自動車運転免許										
合 計			27 (2)					3	4		20 (2)

※() 内は女性職員を表す。

公務災害発生状況

区分 年度	合 計	原 因							通 勤	療養期間		
		火 災	救 急 ・ 救 助	風 水 害 等	演 習 訓 練	訓 練 指 導	査 察 ・ 調 査	そ の 他		一 週 間 未 満	一 ヶ 月 未 満	一 ヶ 月 以 上
令和2年度	1								1			1
令和3年度	1								1		1	
令和4年度	4		1		2			1		1	1	2
令和5年度	2					1			1		2	
令和6年度	1		1									1
合 計	9		2		2	1		1	3	1	4	3

消防職員表彰状況

(令和6年度)

表彰 階級	合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
消 防 庁 長 官 功 労 章								
消防庁長官永年勤続功労章	1		1					
千葉県知事永年勤続功労章								
千 葉 県 知 事 功 労 章								
千 葉 県 知 事 精 勤 章	3				2	1		
千葉県防災危機管理部長章								
日 本 消 防 協 会 長 功 績 章								
日 本 消 防 協 会 長 精 勤 章								
日 本 消 防 協 会 長 勤 続 章	2		1	1				
千葉県消防協会長特別功労章								
千葉県消防協会長永年勤続功労章	1			1				
千葉県消防協会長功績章								
千葉県消防協会功労章								
千葉県消防協会精勤章								
四 街 道 市 消 防 長 章								
合 計	7		2	2	2	1		

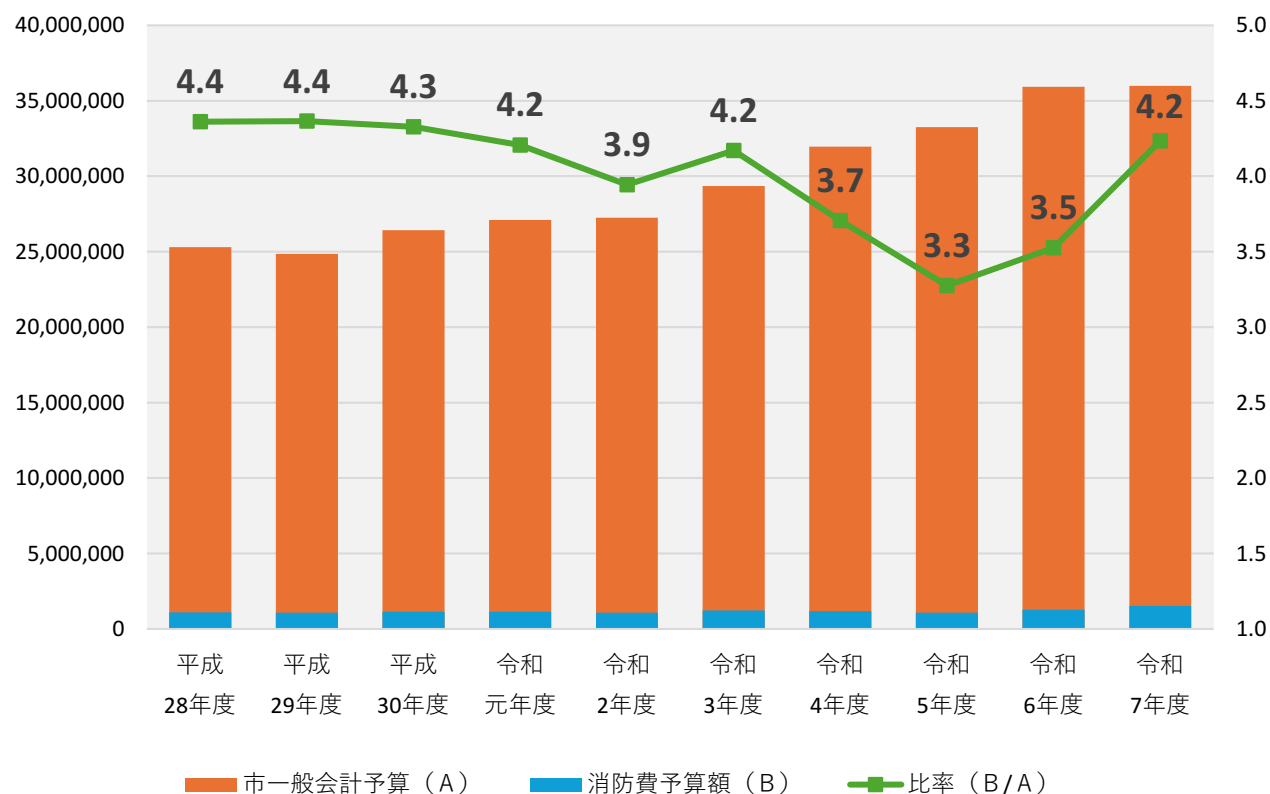
市一般会計予算と消防費予算の比率

(単位：千円)

区分 年度	市一般会計予算額 A	消防費予算額 B	比率 $\frac{B}{A}$ %
平成 28 年度	25,310,000	1,103,818	4.4
平成 29 年度	24,860,000	1,085,204	4.4
平成 30 年度	26,430,000	1,143,699	4.3
令和 元 年度	27,110,000	1,140,698	4.2
令和 2 年度	27,260,000	1,075,254	3.9
令和 3 年度	29,350,000	1,224,007	4.2
令和 4 年度	31,960,000	1,184,395	3.7
令和 5 年度	33,260,000	1,089,254	3.3
令和 6 年度	35,920,000	1,266,514	3.5
令和 7 年度	36,120,000	1,524,535	4.2

単位：千円

単位：%



年度別消防費（当初）節別内訳

（単位：千円）

目	節	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1 常 備 消 防 費	2 給料	434,751	412,166	427,732	455,651
	3 職員手当等	355,108	345,137	357,543	370,208
	4 共済費	142,693	136,521	146,034	153,737
	7 報償費	72	72	166	182
	8 旅費	455	422	729	770
	9 交際費	150	150	150	150
	10 需用費	43,535	52,724	59,550	76,769
	11 役務費	4,847	5,312	5,199	5,909
	12 委託料	19,363	19,505	20,170	22,336
	13 使用料及び賃借料	6,767	6,792	6,836	7,765
	17 備品購入費	20,020	7,799	1,767	101,513
	18 負担金、補助及び交付金	5,712	4,428	7,718	8,384
	26 公課費	921	961	798	1,002
	小 計	1,034,394	991,989	1,034,392	1,204,376
2 非 常 備 消 防 費	1 報酬	27,061	26,960	24,218	24,291
	7 報償費	403	403	91	91
	8 旅費	1,069	298	220	150
	9 交際費	150	150	150	150
	10 需用費	4,102	5,123	5,506	6,304
	11 役務費	866	1,133	979	1,088
	12 委託料	738	2,102	36	36
	13 使用料及び賃借料	207	870	537	749
	17 備品購入費			814	1,132
	18 負担金、補助及び交付金	9,372	9,439	9,581	8,988
	26 公課費	294	540	381	507
	小 計	44,262	47,018	42,513	43,486
3 消 防 施 設 費	8 旅費	411	417	480	465
	10 需用費	489	522	522	522
	11 役務費	261	242	251	251
	12 委託料		2,310		14,384
	13 使用料及び賃借料			933	
	14 工事請負費	15,140	3,006	9,702	5,161
	17 備品購入費	61,600	11,528	96,800	104,984
	18 負担金、補助及び交付金	27,361	31,720	80,331	150,329
	26 公課費	39	33	107	107
	小 計	105,301	49,778	189,126	276,203
4 消 防 広 域 費	8 旅費	6	6	6	6
	10 需用費	232	240	248	244
	11 役務費				11
	13 使用料及び賃借料	155	178	184	164
	18 負担金、補助及び交付金	45	45	45	45
	小 計	438	469	483	470
合 計		1,184,395	1,089,254	1,266,514	1,524,535
対前年比率（％）		96.8%	92.0%	116.3%	120.4%

予 防 編

防火対象物の現況



特定防火対象物



非特定防火対象物

(令和7年4月1日現在)

項	防火対象物の用途別		防火対象物数		建築同意	立入検査				
						立入検査 件数	改善指摘 件数	警告 件数	命令 件数	告発等 件数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2							
	ロ	公会堂、集会場	39							
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類								
	ロ	遊技場、ダンスホール	2			1				
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
	ニ	カラオケボックスその他これに類する施設等								
3	イ	待合、料理店の類								
	ロ	飲食店	50		1	3	3			
4		百貨店、マーケット	103		2	1	1			
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	6							
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	856	34	12	9	7			
6	イ	病院、診療所、助産所	38		1					
	ロ	老人短期入所施設、介護老人ホーム	34	1	1	2	2			
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム	73	1						
	ニ	幼稚園、又は特別支援学校	11							
7		小、中、高、大、各種学校	25	1	3					
8		図書館、博物館、美術館	1							
9	イ	特殊浴場、サウナ浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	2							
11		神社、寺院、教会の類	14							
12	イ	工場、作業場	67	1		5	4			
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫、駐車場	2		4					
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫								
14		倉庫	77		7	1	1			
15		前各項に該当しない事業場	94	2	7	1	0			
16	イ	複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	173	18		3	3			
	ロ	複合用途防火対象物で上記以外のもの	44	4		2	2			
17		重要文化財	1							
18		延長50m以上のアーケード								
そ の 他					30					
合 計			1,714	62	68	28	23			

建築同意の内訳

工事種別	同意処理	合 計	同 意		不 同 意
			指 導 無	指 導 有	
新 築		65	42	23	
増 築		3	2	1	
改 築					
用 途 変 更					
そ の 他					
合 計		68	44	24	

消防用設備等届出状況

(令和6年度)

設備	区分	着工届	工事計画	設置届
消火器具				42
屋内消火栓設備		5		5
スプリンクラー設備		2		4
水噴霧消火設備				
泡消火設備		1		
二酸化炭素消火設備				
ハロゲン化物消火設備				
粉末消火設備		2		2
屋外消火栓設備		1		1
動力消防ポンプ設備			1	2
自動火災報知設備		26		41
ガス漏れ火災警報設備				
漏電火災警報器				
消防機関へ通報する火災報知設備		7		6
非常警報器具又は非常警報器設備			8	15
避難器具			5	7
誘導灯及び誘導標識			29	60
消防用水				
排煙設備				
連結散水設備				
連結送水管			2	1
非常コンセント設備				
無線通信補助設備				
パッケージ型自動消火設備		1		1
パッケージ型消火設備				
不活性ガス消火設備				
総合操作盤		3		2
合 計		48	45	189

各種届出状況

(令和6年度)

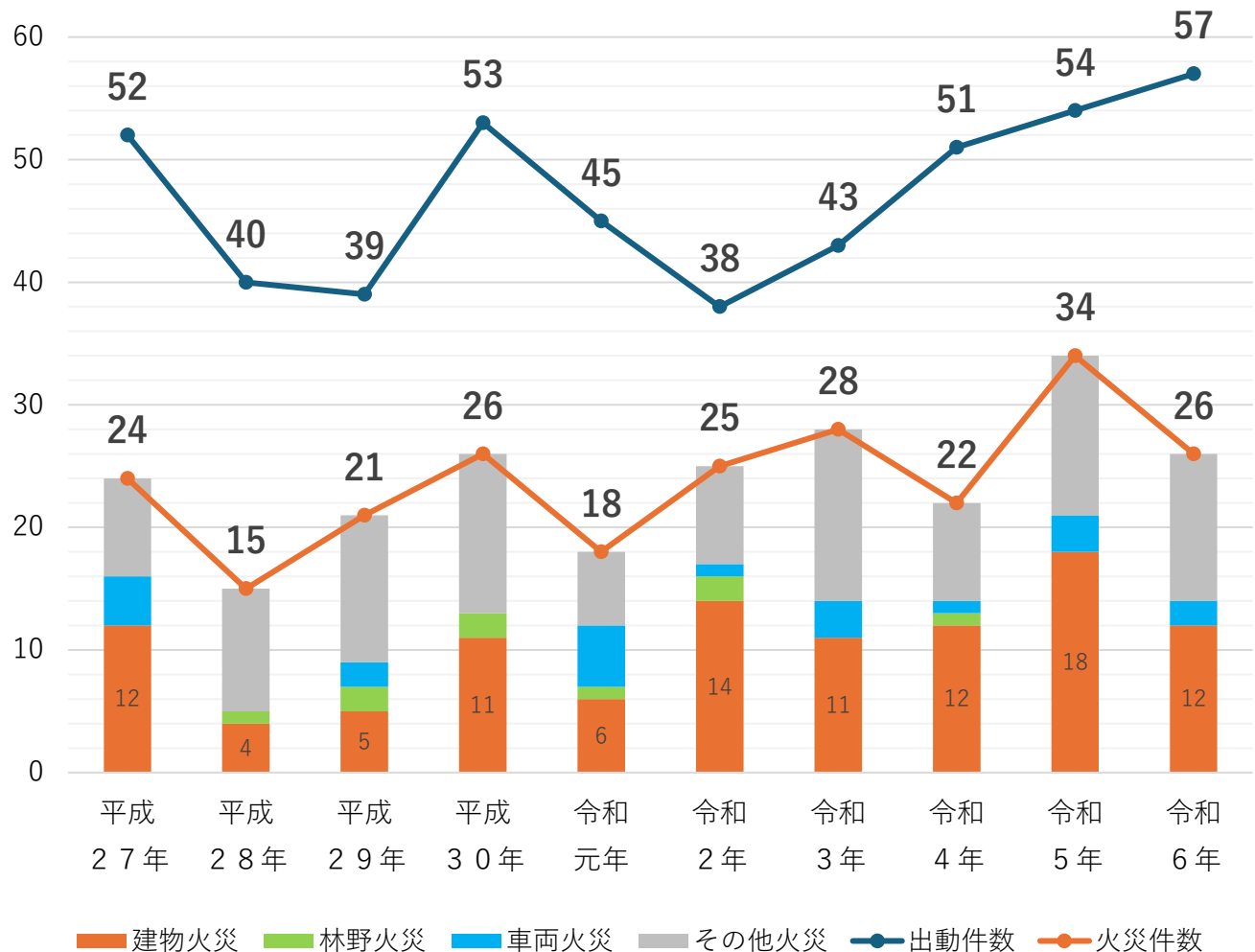
届 出	件 数
防火管理者選任	137
防火管理者解任	91
防火対象物使用開始	81
炉・ボイラー	10
変電・発電・蓄電池設備	28
水素ガスを充てんする 気球の届出	
怪煙行為	120
煙火の打上げ	17
催物の開催	
水道断減水	
道路工事	318
露店等の開設届出	24
少量危険物	6
圧縮アセチレンガス	7
指定可燃物	2
合 計	841

火災出動件数・火災件数

年	区分	出動件数	火災件数	火 災 種 別				誤報等	出火率
				建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災		
平成 2 7 年		52	24	12		4	8	28	2.6
平成 2 8 年		40	15	4	1		10	25	1.6
平成 2 9 年		39	21	5	2	2	12	18	2.3
平成 3 0 年		53	26	11	2		13	27	2.8
令和 元 年		45	18	6	1	5	6	27	1.9
令和 2 年		38	25	14	2	1	8	13	2.6
令和 3 年		43	28	11		3	14	15	2.9
令和 4 年		51	22	12	1	1	8	29	2.3
令和 5 年		54	34	18		3	13	20	3.6
令和 6 年		57	26	12		2	12	31	2.7
合 計		472	239	105	9	21	104	233	2.5

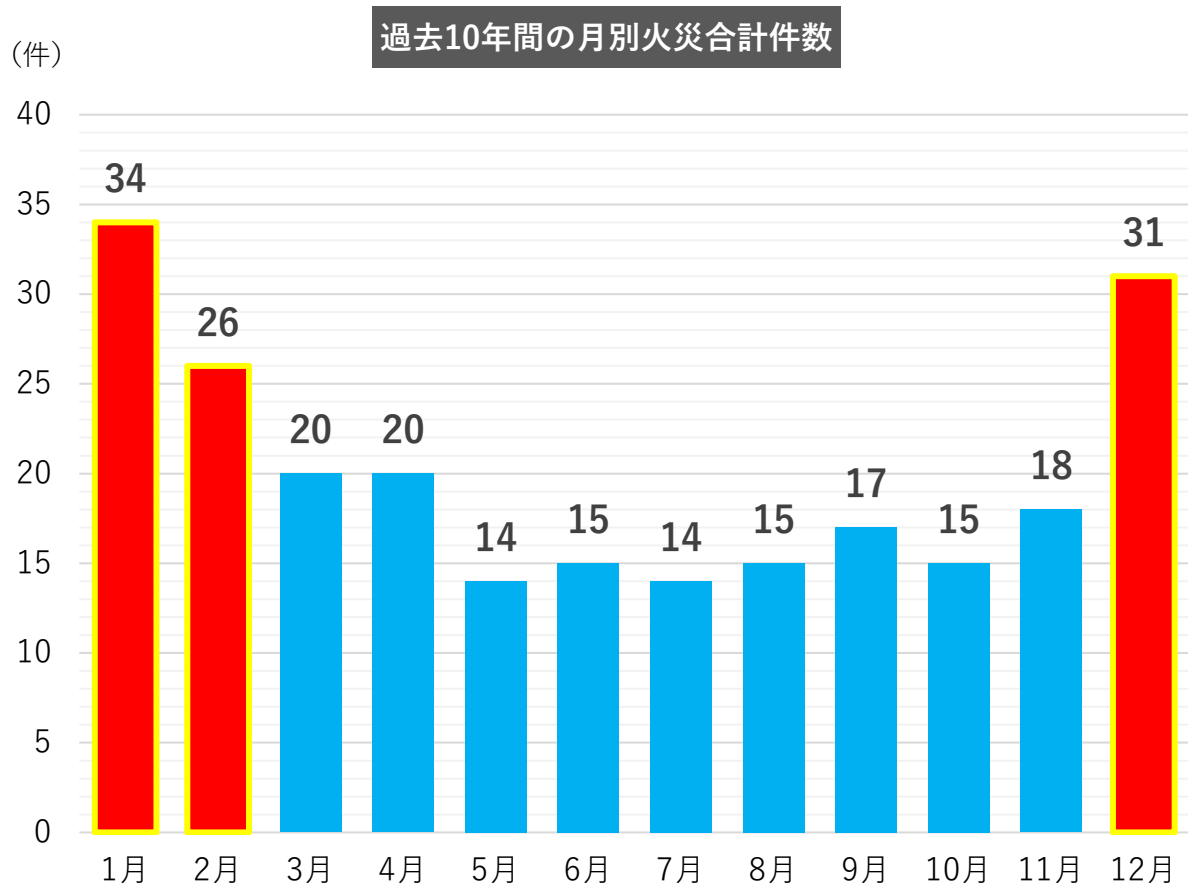
※出火率は、人口1万人当たりの火災件数を表す。

(件)



月別火災件数

年 \ 月	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	24	5	2	2	1	1	1		3	3	1	1	4
平成28年	15	1	1	1	1	1	3	1	1		1	3	1
平成29年	21	2	2	3	4		1	1	1	1	2	2	2
平成30年	26	6	2	2	3	2		4	2	1	2		2
令和元年	18	2	1	3	2		1	1	1	2	1	4	
令和2年	25	1	4	2	1	3		2	3	2	3	1	3
令和3年	28	5	1	4	2	3	2		1	1	3	2	4
令和4年	22	2	5	1	1		4	3	1		2	1	2
令和5年	34	6	5	1	4	2	1	2	2	4		3	4
令和6年	26	4	3	1	1	2	2			3		1	9
合 計	239	34	26	20	20	14	15	14	15	17	15	18	31

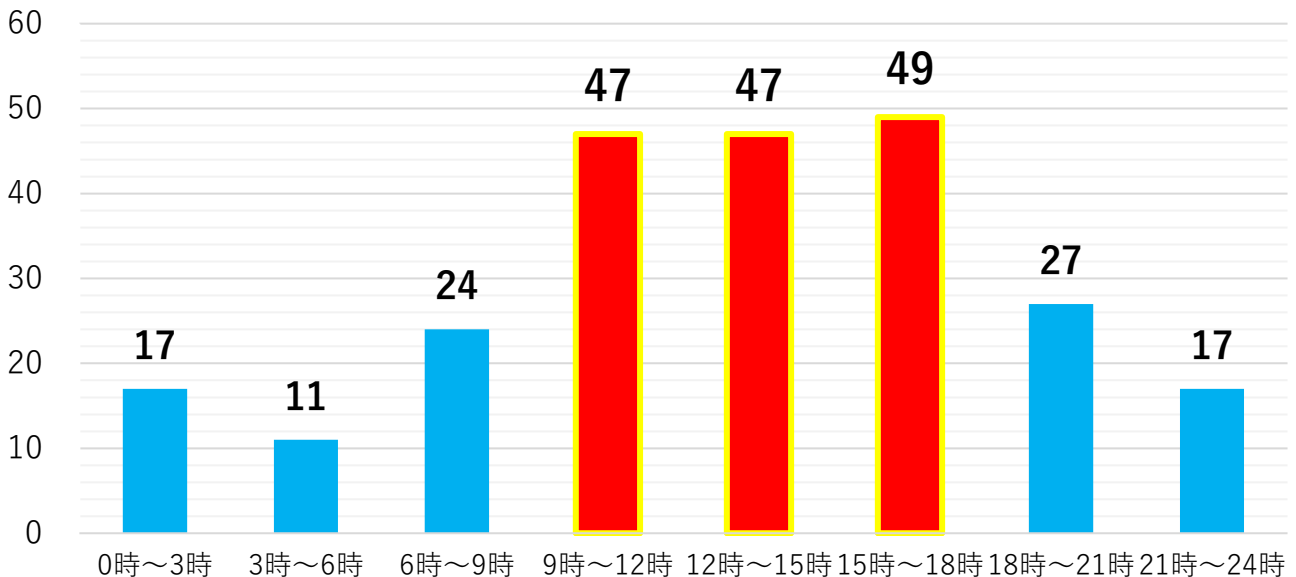


時間別火災件数

年 時間		合 計	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
夜 間	0 ～ 1	3				1	1				1	
	1 ～ 2	9	2	1	1		1			1		3
	2 ～ 3	5	1	1			1		1		1	
	3 ～ 4	5			1		1	1			1	1
	4 ～ 5	2	1						1			
	5 ～ 6	4	1					1			2	
昼 間	6 ～ 7	6						1	2	1	1	1
	7 ～ 8	5	1	1		1	1			1		
	8 ～ 9	13	1	2		2	4	1	1	1		1
	9 ～ 10	16	1		1	1	2	1	1	3	3	3
	10～11	19	3		4	1		4	2	1	2	2
	11～12	12	2		2	2	2			1	2	1
	12～13	14			1			2	3	3	4	1
	13～14	15	2		1	3	1	3		1	2	2
	14～15	18	2		2	1	1	2	3	2	2	3
	15～16	17	2	4		2	1	2	1		3	2
	16～17	18	1		1	4		2	3	3	3	1
	17～18	14	3	1	2	1		1	2	2	2	
夜 間	18～19	10	1	2	1	3	1	1		1		
	19～20	8			1	2			2		2	1
	20～21	9		1	1	1		2	2	1	1	
	21～22	7		2	1				4			
	22～23	5				1					1	3
	23～24	5			1		1	1			1	1
合 計		239	24	15	21	26	18	25	28	22	34	26

(件)

過去10年間の時間別火災合計件数



地区別火災発生状況

年 地区		合 計	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
消 防 署	下志津新田	6				1			1		2	2
	さつきが丘											
	四 街 道	14	2	1	1		1	2	2	1	3	1
	鹿 渡	13	1		1		1	2		3	2	3
	中 央	7				1			1	1	3	1
	さ ち が 丘	1										1
	みのり町	2							1		1	
	和 良 比	9	1	2		3			1		1	1
	美 し が 丘	4		1					1	1		1
	め い わ	2						1				1
	栗 山	9			1	2	2	1	2			1
	つくし座	1									1	
	鹿放ヶ丘	31	5	4	3	4	2	1	3	1	5	3
	大 日	46	2	4	4	5	3	6	7	7	5	3
	萱 橋											
	小 計	145	11	12	10	16	9	13	19	14	23	18
千 代 田 分 署	長 岡	2								1	1	
	物 井	9	2		1	1	2	1	1		1	
	もねの里	2									2	
	亀 崎	6	1		1			2		1	1	
	千 代 田	12	1	1	1	4	1	1		1	1	1
	内 黒 田	9	1		3		2		1	1	1	
	池 花	1			1							
	小 計	41	5	1	7	5	5	4	2	4	7	1
旭 分 署	小 名 木	3	1		1	1						
	吉 岡	14	1		1	3	1	1		3	2	2
	南 上 和	10				1	1	2	4			2
	中 台 中	4			2			1			1	
	山 梨	8	1	1				3	2	1		
	旭 ケ 丘	4	3				1					
	み そ ら	5	1	1			1		1			1
	鷹 の 台	1						1				
	たかおの杜	1										1
	小 計	50	7	2	4	5	4	8	7	4	3	6
東関東自動車道		3	1								1	1
合 計		239	24	15	21	26	18	25	28	22	34	26

原因別火災件数

地区 \ 年	合 計	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
たばこ	20		1	1	3	1	4	4	1	5	
こんろ	15	2		2	1	2	1	3		3	1
かまど											
風呂かまど											
炉											
焼却炉	2				1					1	
ストーブ	6				1		3		1	1	
こたつ											
ボイラー											
煙突・煙道	1	1									
排気管	6					2			1	1	2
電気機器	11	1	1		1		2	3	3		
電気装置	2		1							1	
電灯・電話等の配線	8				1	1	2	1	2	1	
内燃機関	1	1									
配線器具	14	2	2	1	1			2	1	1	4
火あそび	4	1		1						1	1
マッチ・ライター	1								1		
たき火	22	1		6	3		2	1	2	4	3
溶接機・溶断機	10	4					1	2	2		1
灯 火	6				2		1	1	1		1
衝突の火花	1			1							
取 灰	1	1									
火 入 れ	3					1	1		1		
放 火	6					1		1	1	2	1
放火の疑い	24	3	4	1	5	7				2	2
そ の 他	21		3	3	2		3	1	3	3	3
不明・調査中	54	7	3	5	5	3	5	9	2	8	7
合 計	239	24	15	21	26	18	25	28	22	34	26

火災被害状況

年	月	損 害 額 (単位：千円)	建物焼損床面積 (m ²)	り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者
平成 2 7 年		63,185	550	11	23	1	2
平成 2 8 年		17,108	281	1	2		
平成 2 9 年		55	162	5	13		4
平成 3 0 年		89,106	451	8	28	3	6
令 和 元 年		88,267	739	9	24		1
令 和 2 年		86,377	785	13	28	1	9
令 和 3 年		70,653	622	10	18	3	2
令 和 4 年		95,963	691	14	30	1	4
令 和 5 年		46,779	822	11	27	1	2
令 和 6 年		112,245	837	28	69	1	6
合 計		669,738	5,940	110	262	11	36

危険物施設数推移

施設区分 年度	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	セ ル フ	一 般 取 扱 所
令和 2 年度	101	1	6	13		16		25	2	32	7	6
令和 3 年度	101	1	6	13		16		26	2	31	8	6
令和 4 年度	103	1	6	13		16		27	2	32	8	6
令和 5 年度	102	1	6	13		15		28	2	31	8	6
令和 6 年度	104	1	8	13		16		27	2	30	8	7

危険物施設の事務処理状況

(令和6年度)

施設区分 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	セ ル フ	一 般 取 扱 所	
設 置 許 可	4		1						1			2	
変 更 許 可	5						1				4	2	
設 置 完 成	5		2				1		1				1
変 更 完 成	3										3	2	
廃 止	1										1		
仮 使 用	4										4	2	
仮 貯 蔵													
仮 取 扱	3										3		

査察（危険物施設）

(令和6年度)

施設区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	セ ル フ	一 般 取 扱 所
施 設 数	104	1	8	13		16		27	2	30	8	7
立入検査件数	16		1			2		8		5		
改善指摘件数	8		1			2				5		
警 告 件 数												
命 令 件 数												
告 発 等 件 数												

四街道市危険物安全協会

本会は、会員相互の融和を図るとともに、危険物及び指定可燃物（以下「危険物等」という。）の取扱い及び管理の向上並びに危険物等に起因する災害の防止に努め、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

主な活動

- ・ 危険物取扱者試験受験者講習会の開催
- ・ 防火・防災に関する視察研修
- ・ 優良事業所・優良危険物取扱者の表彰
- ・ 危険物事故の防止・火災予防啓発活動
- ・ 消防関係行事への協力活動

（令和7年4月1日現在）

会 員 数	76
-------	----

四街道市女性防火クラブ

火災予防知識や火災時の適切な措置等を習得させ、地域における女性防災リーダーを育成することで、防火思想の普及と火災等の防止及び火災等による被害の軽減を図ることを目的としています。

主な活動

- ・ 防火知識に関する研修や防火・防災に関する視察研修
- ・ 応急手当や救命処置に関する講習の受講
- ・ 住宅用火災警報器の普及などの火災予防啓発活動
- ・ 消火器の取扱訓練
- ・ 消防関係行事への協力活動

（令和7年4月1日時点）

ク ラ ブ 員 数	24
-----------	----

警 防 編

救急業務

令和7年4月1日現在の救急自動車保有台数は、高規格救急自動車5台（非常用1台含む。）であり、救急隊員24名のうち24名が救急救命士です。

消防職員121名（他再任用6名）のうち、救急隊員として資格を有している職員は107名で、うち30名が救急救命士です。

令和6年中の救急出動件数は、5,469件で令和5年中と比較して13件（0.2%）の増加であり、事故種別でみると、急病3,595件（65.7%）、一般負傷890件（16.3%）、交通事故288件（5.3%）の順です。また、令和6年中の搬送人員は、4,622人で令和5年中と比較して13人（0.3%）の増加となっています。

救急隊員の状況

（令和7年4月1日現在）

所属 \ 階級	合計	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士
消 防 署	10 (10)		2 (2)	3 (3)	5 (5)
千 代 田 分 署	8 (8)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
旭 分 署	6 (6)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	1 (1)
合 計	24 (24)	4 (4)	5 (5)	7 (7)	8 (8)

※（ ）内は、救急救命士隊員数

救急資格（要件）別職員数

（令和7年4月1日現在）

救急資格（要件） \ 階級	合計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士
救 急 救 命 士	30		1	7	6	8	8
指 導 救 命 士 認 定	5		1	1	3		
気 管 挿 管 認 定 救 命 士	25		1	7	6	8	3
ビ デ オ 喉 頭 鏡 認 定 救 命 士	21			7	6	7	1
薬 剤 投 与 認 定 救 命 士	25		1	6	6	8	4
処 置 範 囲 拡 大 2 行 為 認 定	25		1	6	6	8	4
救 急 隊 員 有 資 格 者	77	1	5	11	22	21	17
救 急 科	56			3	21	15	17
救 急 標 準 課 程	17	1	5	7	1	3	
救 急 I 課 程							
救 急 II 課 程	4			1		3	
合 計	107	1	6	18	28	29	25

救急隊員が実施した応急処置状況

(令和6年中)

事故種別 応急処置	合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他
止 血	127	19	22	73	13
固 定	239	18	113	85	23
人 工 呼 吸	24	19		4	1
心 肺 蘇 生	122	113	3	2	4
酸 素 吸 入	763	592	41	23	107
心 電 図 測 定	3,393	2,549	119	406	319
保 温	17	12	3	2	
被 覆	299	12	57	205	25
在 宅 療 法	17	17			
心 音 呼 吸 音 の 聴 取	662	532	53	49	28
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	5,041	3,398	291	845	507
血 圧 測 定	4,826	3,263	287	788	488
気 道 確 保	138	125	3	5	5
経鼻エアウェイによる気道確保	1	1			
喉頭鏡・鉗子による異物除去	3	2		1	
※器具使用による気道確保	51	51			
※気管挿管	3	2		1	
除 細 動	9	9			
※薬剤投与	35	34	1		
※静脈路確保（輸液）	106	94	5	2	5
※心肺停止前	37	29	4	2	2
※心肺停止後	53	49	1		3
※ブドウ糖溶液投与	16	16			
血 糖 測 定	101	93	2	4	2
そ の 他 の 応 急 処 置	7,507	5,057	490	1,318	642
合 計	23,426	15,956	1,490	3,811	2,169
* 対 象 人 員	5,159	3,497	294	854	514

※医師の具体的指示を必要とする救急救命処置

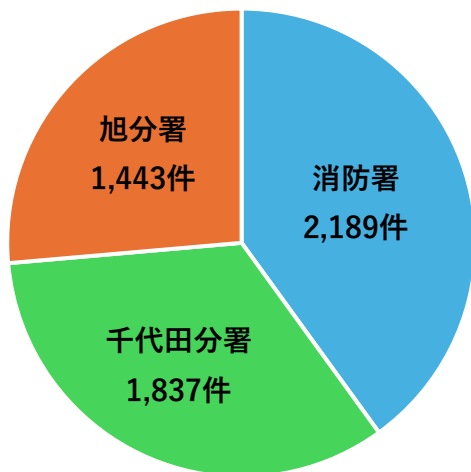
*搬送人員のうち医療機関へ搬送するまでに応急処置を行った人員のほか、不搬送件数のうち現場で応急処置を行った人員も含む。

署所別救急出動件数及び搬送人員

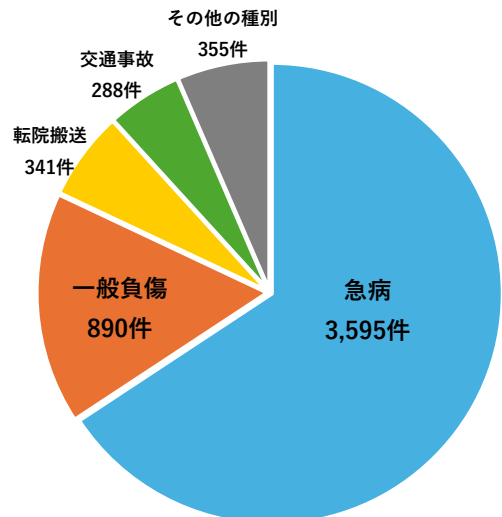
(令和6年中)

署所	事故種別 区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 輸 送	そ の 他
消 防 署	出 動 件 数	2,189	4			108	13	15	352	10	19	1,448	136			84
	搬 送 件 数	1,818	1			89	12	14	299	5	16	1,245	136			1
	不 搬 送	371	3			19	1	1	53	5	3	203				83
	搬 送 人 員	1,827	1			95	12	14	299	5	17	1,247	136			1
千 代 田 分 署	出 動 件 数	1,837	4			103	18	13	296	6	11	1,228	95			63
	搬 送 件 数	1,570	3			91	18	13	262	3	9	1,077	94			
	不 搬 送	267	1			12			34	3	2	151	1			63
	搬 送 人 員	1,580	5			95	18	13	263	3	9	1,080	94			
旭 分 署	出 動 件 数	1,443	4			77	14	10	242	5	6	919	110		1	55
	搬 送 件 数	1,209				65	14	9	205	1	6	798	110			1
	不 搬 送	234	4			12		1	37	4		121			1	54
	搬 送 人 員	1,215				69	14	9	207	1	6	798	110			1
合 計	出 動 件 数	5,469	12			288	45	38	890	21	36	3,595	341		1	202
	搬 送 件 数	4,597	4			245	44	36	766	9	31	3,120	340			2
	不 搬 送	872	8			43	1	2	124	12	5	475	1		1	200
	搬 送 人 員	4,622	6			259	44	36	769	9	32	3,125	340			2

署所別救急出動件数

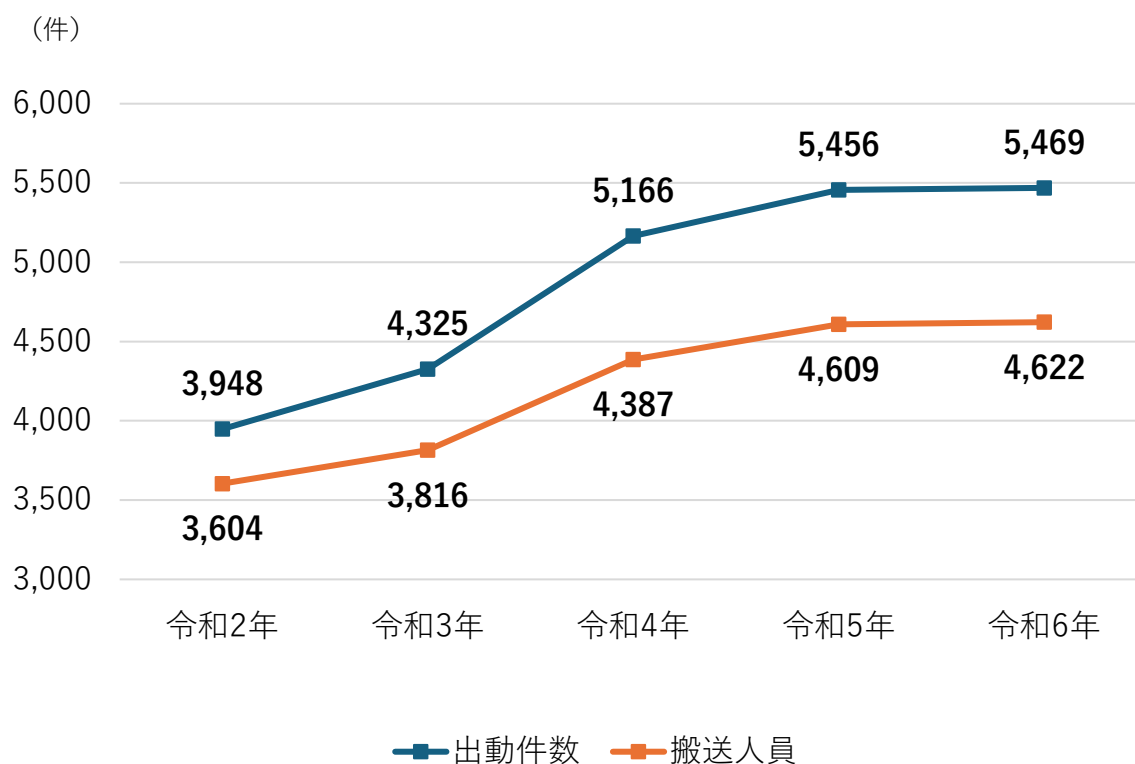


事故種別救急出動件数



年別救急出動件数及び搬送人員

事故種別 年 区分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 輸 送	そ の 他
令和 2 年	出 動 件 数	3,948	18			246	48	24	659	32	32	2,441	318	2		128
	搬 送 人 員	3,604	9			237	47	22	615	22	21	2,310	318			3
令和 3 年	出 動 件 数	4,325	12			241	43	15	742	10	39	2,823	274	3		123
	搬 送 人 員	3,816	2			229	41	16	675	5	25	2,544	274			5
令和 4 年	出 動 件 数	5,166	19	1		329	41	25	827	19	47	3,429	284	1		144
	搬 送 人 員	4,387	5	1		322	40	25	730	14	33	2,926	283			8
令和 5 年	出 動 件 数	5,456	21	1	1	301	52	31	815	10	46	3,715	298			165
	搬 送 人 員	4,609	2			286	49	28	720	7	30	3,186	297			4
令和 6 年	出 動 件 数	5,469	12			288	45	38	890	21	36	3,595	341		1	202
	搬 送 人 員	4,622	6			259	44	36	769	9	32	3,125	340			2



月別救急出動件数及び搬送人員

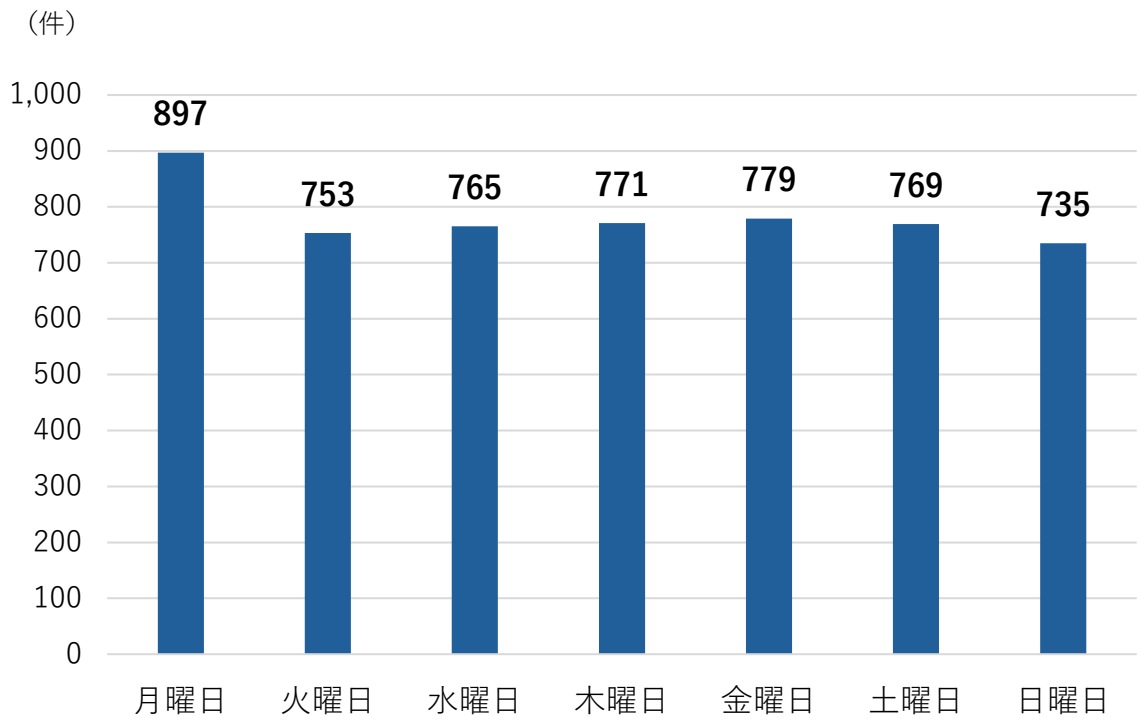
(令和6年中)

月	事故種別 区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 輸 送	そ の 他
1 月	出 動 件 数	504	2			18		3	74	2	2	350	31			22
	搬 送 人 員	428				16		3	67	1	2	308	31			
2 月	出 動 件 数	425	2			23	2	2	83	2	6	274	18			13
	搬 送 人 員	358	2			23	2	2	72	1	6	232	18			
3 月	出 動 件 数	424	1			22	1	6	75			283	20			16
	搬 送 人 員	343				20	1	5	58			239	20			
4 月	出 動 件 数	440				17		2	67	4	5	293	37			15
	搬 送 人 員	381				15		2	62	1	4	260	37			
5 月	出 動 件 数	396				17	4	5	65	2	2	263	24			14
	搬 送 人 員	341				16	4	5	58		2	232	24			
6 月	出 動 件 数	437				26	5	6	76	1	2	273	32			16
	搬 送 人 員	391				25	5	6	69	1	2	250	32			1
7 月	出 動 件 数	564				30	16	6	74	1	2	373	40			22
	搬 送 人 員	481				27	16	6	59		2	331	40			
8 月	出 動 件 数	472				25	5	1	69	1	2	327	27			15
	搬 送 人 員	387				20	5	1	54	1	2	277	27			
9 月	出 動 件 数	433	3			25	2	3	74	3		280	28			15
	搬 送 人 員	359	3			21	2	3	60	1		241	28			
10 月	出 動 件 数	435				32	4		73		7	274	24			21
	搬 送 人 員	371				26	4		66		6	245	24			
11 月	出 動 件 数	422	1			30	3	3	64	5	4	271	25			16
	搬 送 人 員	347				29	2	3	59	3	3	224	24			
12 月	出 動 件 数	517	3			23	3	1	96		4	334	35		1	17
	搬 送 人 員	435	1			21	3		85		3	286	35			1
合 計	出 動 件 数	5,469	12			288	45	38	890	21	36	3,595	341		1	202
	搬 送 人 員	4,622	6			259	44	36	769	9	32	3,125	340			2

曜日別救急出動件数

(令和6年中)

曜 日	事故種別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 輸 送	そ の 他
月 曜 日		897	1			64	7	2	126	1	7	591	64			34
火 曜 日		753	2			32	5	4	123	3	4	490	57		1	32
水 曜 日		765	1			38	7	4	145		7	486	55			22
木 曜 日		771	4			38	15	3	126	3	5	493	51			33
金 曜 日		779	2			33	7	6	131	4	6	514	53			23
土 曜 日		769	1			50	3	10	126	4	2	497	52			24
日 曜 日		735	1			33	1	9	113	6	5	524	9			34
合 計		5,469	12			288	45	38	890	21	36	3,595	341		1	202

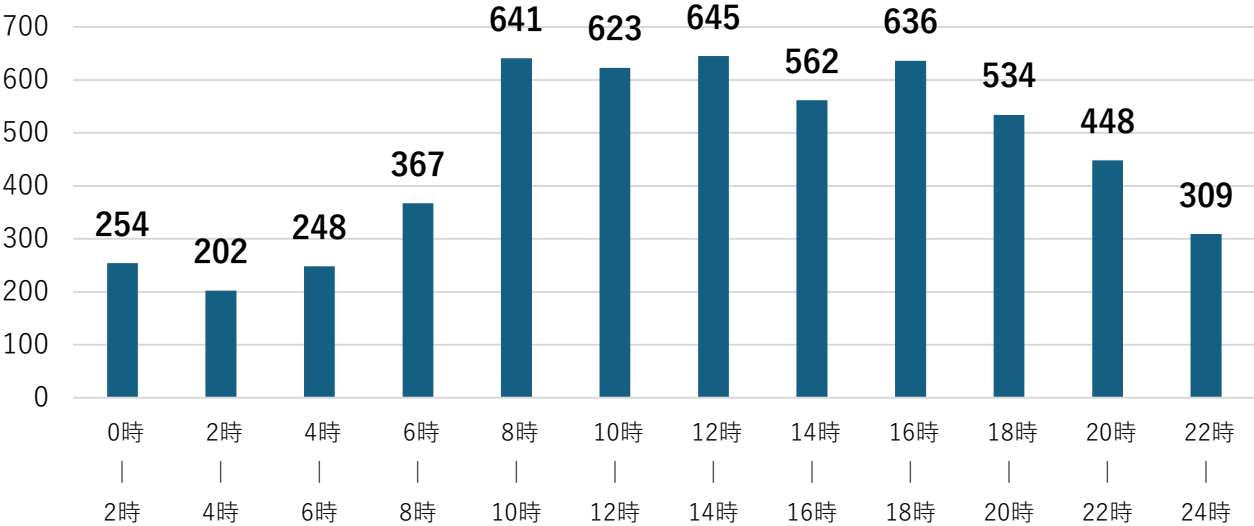


時間別救急出動件数

(令和6年中)

時間 \ 事故種別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 輸 送	そ の 他
0 時 ～ 2 時	254				4	1		21	1	4	207	4			12
2 時 ～ 4 時	202	1			3			16	4	2	163	4			9
4 時 ～ 6 時	248				3			29	1	1	198			1	15
6 時 ～ 8 時	367	4			24			54		1	268	2			14
8 時 ～ 10 時	641				32	4	1	90	1	3	447	35			28
10 時 ～ 12 時	623	2			36	10	10	101		1	369	71			23
12 時 ～ 14 時	645	1			29	12	7	114	1	4	367	90			20
14 時 ～ 16 時	562	1			31	6	7	118		3	326	47			23
16 時 ～ 18 時	636	2			55	9	4	116	3	5	361	56			25
18 時 ～ 20 時	534				36	2	5	115	2	6	338	19			11
20 時 ～ 22 時	448				23		4	78	5	1	320	7			10
22 時 ～ 24 時	309	1			12	1		38	3	5	231	6			12
合 計	5,469	12			288	45	38	890	21	36	3,595	341		1	202

(件)



地区別救急出動件数

(令和6年中)

事故種別 署所 区分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 輸 送	そ の 他
消 防 署	下志津新田	148				3	2		22		1	115				5
	さつきヶ丘	36							4	1		29				2
	四 街 道	425				17	2	7	76	4	2	286	12			19
	鹿 渡	468	1			23	2	6	76		2	230	106			22
	中 央	81				5	1		23			50				2
	さ ち が 丘	65	2			1			12			48				2
	み の り 町	25				1			2		1	21				
	和 良 比	343				17		1	48	3	1	243	18			12
	美 し が 丘	155	1			6		1	27		1	113	1			5
	め い わ	221	2			14		3	44		2	153				3
	栗 山	282				9	4	1	55		1	162	34			16
	つ く し 座	79				3			17			54	5			
	鹿 放 ケ 丘	106				15	1		8	3	2	74				3
	大 日	1,086	1			64	11	3	166	6	9	755	33			38
	萱 橋	3				1		1	1							
	小 計	3,523	7			179	23	23	581	17	22	2,333	209			129
千代田分署	長 岡	4				4										
	物 井	101				6	1	1	21			65				7
	も ね の 里	158				17	1	1	23		2	102	8			4
	亀 崎	21				4	1		2			14				
	千 代 田	378	2			6	1	2	83	1	3	267	1			12
	内 黒 田	52				4		1	8		1	37				1
	池 花	50				3		1	11	1		34				
	小 計	764	2			44	4	6	148	2	6	519	9			24
旭 分 署	小 名 木	35				5	1		7		1	21				
	吉 岡	200				14	3		21	1		52	107			2
	南 上 和	82				8	2	6	18			41			1	6
	成 台 中	81				6	2		5			67				1
	山 梨	49				9			7	1		28	4			
	旭 ケ 丘	210				6		1	36		2	155				10
	み そ ら	185	1			2	1	1	22		1	146				11
	鷹 の 台	129				1	1	1	23		1	94	5			3
	たかおの杜	25				1	5		3			15				1
	小 計	996	1			52	15	9	142	2	5	619	116		1	34
東 関 東 自 動 車 道		10	2			5			1			2				
管 轄 外		176				8	3		18		3	122	7			15
合 計		5,469	12			288	45	38	890	21	36	3,595	341		1	202

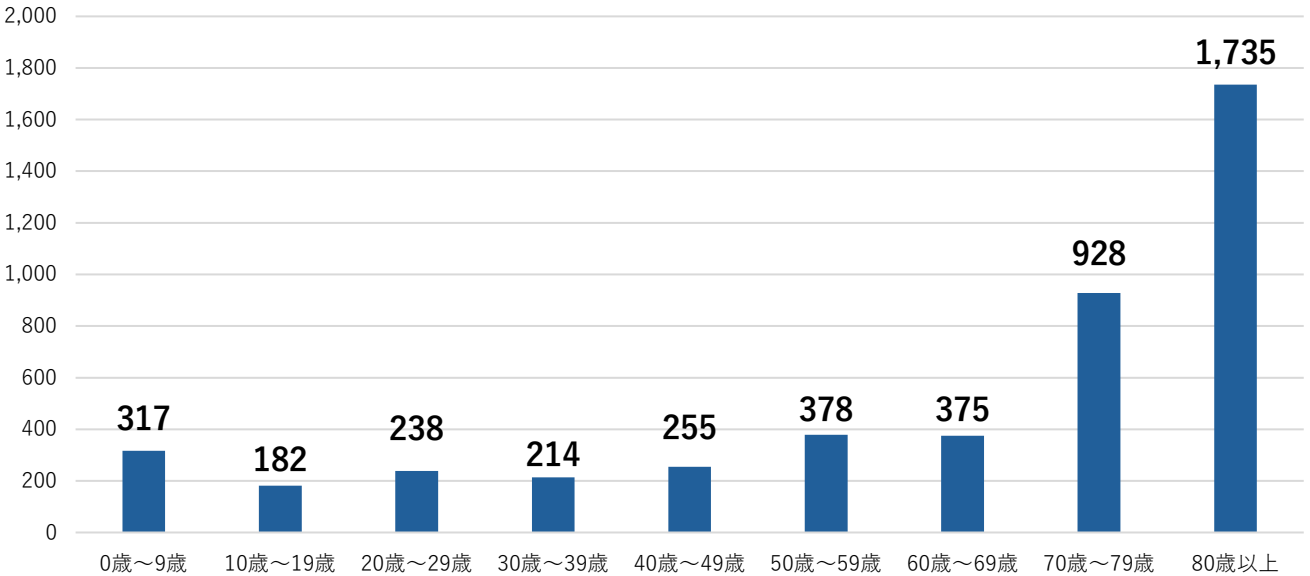
年齢別・性別救急搬送人員

(令和6年中)

月 年齢 \ 性別		合 計	小 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
0 歳 ～ 9 歳	男性	317	188	18	13	15	19	20	21	16	11	9	12	19	15
	女性		129	14	8	8	12	7	16	22	8	8	9	9	8
10 歳 ～ 19 歳	男性	182	107	7	14	9	7	13	13	12	6	10	7	4	5
	女性		75	10	6	5	9	3	5	7	5	5	8	8	4
20 歳 ～ 29 歳	男性	238	123	14	10	8	8	13	9	10	10	7	10	14	10
	女性		115	12	12	9	11	13	8	5	10	11	11	6	7
30 歳 ～ 39 歳	男性	214	114	11	8	7	11	9	12	15	13	4	5	10	9
	女性		100	5	10	12	9	13	5	7	8	5	10	4	12
40 歳 ～ 49 歳	男性	255	139	8	10	12	13	8	13	16	11	13	10	12	13
	女性		116	12	8	10	7	5	15	13	9	8	10	12	7
50 歳 ～ 59 歳	男性	378	210	17	16	18	9	19	17	30	16	18	14	13	23
	女性		168	11	19	12	14	7	16	16	16	11	21	16	9
60 歳 ～ 69 歳	男性	375	218	18	15	13	24	12	23	27	20	19	16	18	13
	女性		157	11	13	14	10	13	11	18	14	12	17	5	19
70 歳 ～ 79 歳	男性	928	476	45	43	36	40	36	31	42	39	37	44	32	51
	女性		452	43	27	33	35	40	45	31	46	44	30	29	49
80 歳 以 上	男性	1,735	846	82	60	56	62	54	77	109	68	56	63	73	86
	女性		889	90	66	66	81	56	54	85	77	82	74	63	95
月 別 合 計	男性	4,622	2,421	220	189	174	193	184	216	277	194	173	181	195	225
	女性		2,201	208	169	169	188	157	175	204	193	186	190	152	210
合 計		4,622		428	358	343	381	341	391	481	387	359	371	347	435

(人)

年齢別救急搬送人員



年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員

(令和6年中)

年齢区分	事故種別 傷病程度	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
			災	然 災 害	難 事 故	通 事 故	働 災 害	動 競 技	般 負 傷	害	損 行 為	病	の 他
新生児 28日未満	死 亡												
	重 症	1										1	
	中 等 症	3										1	2
	軽 症	1										1	
	そ の 他												
	小 計	5										3	2
乳 幼 児 28日以上7歳未満	死 亡												
	重 症	3							1				2
	中 等 症	63				4			10			37	12
	軽 症	189				6			59			123	1
	そ の 他												
	小 計	255				10			70			160	15
少 年 7歳以上18歳未満	死 亡												
	重 症	7						1	1			3	2
	中 等 症	59				8		6	4			32	9
	軽 症	131	2			21		23	27		2	56	
	そ の 他												
	小 計	197	2			29		30	32		2	91	11
成 人 18歳以上65歳未満	死 亡	6										6	
	重 症	66				10	2		4		4	31	15
	中 等 症	589	2			39	17	3	58	4	15	394	57
	軽 症	631	1			100	20	2	78	2	9	406	13
	そ の 他												
	小 計	1,292	3			149	39	5	140	6	28	837	85
高 齢 者 65歳以上	死 亡	34				1			1			31	1
	重 症	312	1			4			16	2		250	39
	中 等 症	1,592				26	3	1	245		2	1,147	168
	軽 症	935				40	2		265	1		606	21
	そ の 他												
	小 計	2,873	1			71	5	1	527	3	2	2,034	229
合 計	死 亡	40				1			1			37	1
	重 症	389	1			14	2	1	22	2	4	285	58
	中 等 症	2,306	2			77	20	10	317	4	17	1,611	248
	軽 症	1,887	3			167	22	25	429	3	11	1,192	35
	そ の 他												
	合 計	4,622	6			259	44	36	769	9	32	3,125	342

現場到着所要時間別出動件数

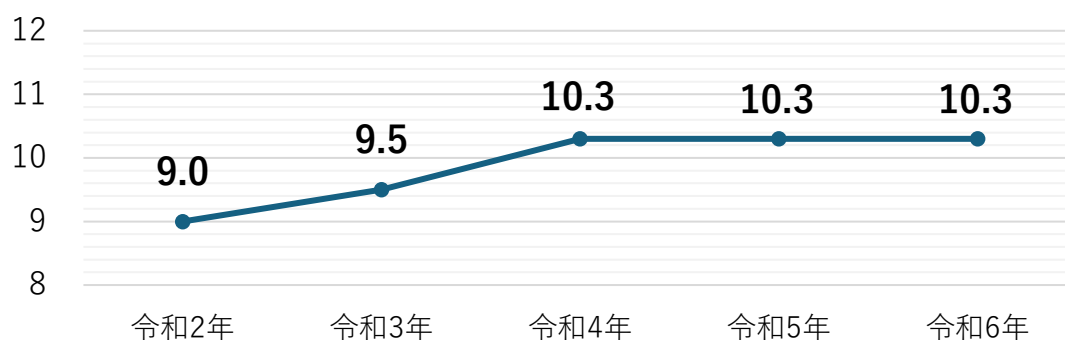
年 \ 時間	合 計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均 (分)
令和2年	3,948	23	220	2,266	1,405	34	9.0
令和3年	4,325	12	152	2,282	1,815	64	9.5
令和4年	5,166	17	113	2,394	2,497	145	10.3
令和5年	5,456	27	134	2,505	2,646	144	10.3
令和6年	5,469	23	125	2,374	2,783	164	10.3

病院収容所要時間別搬送人員

年 \ 時間	合 計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 (分)
令和2年	3,604		7	157	2,273	1,104	63	55.6
令和3年	3,816		1	73	2,091	1,531	120	61.8
令和4年	4,387		1	49	2,029	1,997	311	69.6
令和5年	4,609		5	61	2,094	2,158	291	68.5
令和6年	4,622		1	64	1,928	2,366	263	69.6

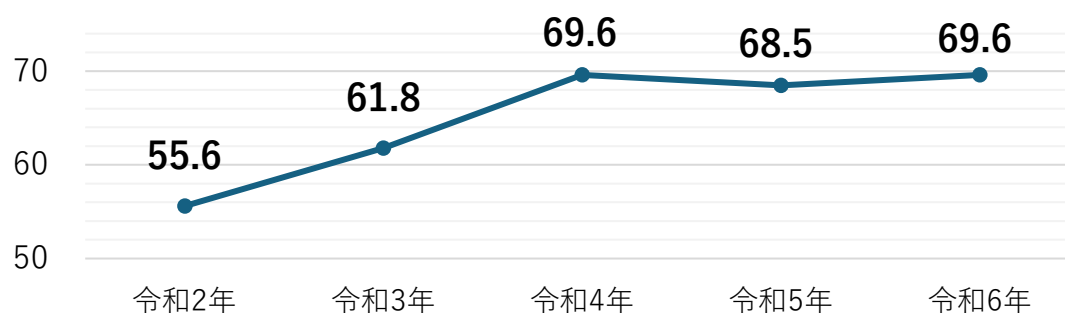
(分)

現場到着平均所要時間推移



(分)

病院収容平均所要時間推移



ドクターヘリ

ドクターヘリとは、救急用の医療機器等を装備したヘリコプターに救急医療の専門医及び看護師等が同乗し、消防機関等の要請により救急現場に向い、救急現場等から医療機関に搬送する間、患者に救急医療を行うことができるヘリコプターです。

ドクターヘリ出動状況

事故種別 年	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
令和2年	53				7	11		7		1	26	1
令和3年	49	1			2	6		8		5	26	1
令和4年	56				13	2		2		1	36	2
令和5年	52				11	5	1	3		1	30	1
令和6年	48				12	2		7		1	26	

ドクターヘリ離着陸場

学校（13ヶ所）

（令和7年4月1日現在）

指 定 場 所	所 在 地	指定日	指 定 場 所	所 在 地	指定日
八木原小学校	四街道市千代田5-4	H14.1.7	旭 中 学 校	四街道市南波佐間267	H14.1.7
千代田中学校	四街道市千代田5-27	〃	四 和 小 学 校	四街道市和良比228	〃
南 小 学 校	四街道市物井1536	〃	四街道西中学校	四街道市大日23	〃
大 日 小 学 校	四街道市大日978	〃	四 街 道 小 学 校	四街道市四街道1557	〃
四街道北中学校	四街道市栗山1055	〃	和良比小学校	四街道市美しが丘3-12	〃
中 央 小 学 校	四街道市鹿渡917	〃	吉 岡 小 学 校	四街道市鷹の台3-2	〃
山 梨 小 学 校	四街道市旭ヶ丘1-9-12	〃			

公園・その他（4ヶ所）

指 定 場 所	所 在 地	指定日	指 定 場 所	所 在 地	指定日
中央公園野球場	四街道市鹿渡無番地	H14.1.7	総合公園多目的 運 動 場	四街道市和田161	H14.1.7
鷹 の 台 公 園 芝 生 広 場	四街道市鷹の台2-36	〃	鹿 放 ケ 丘 グ ラ ウ ン ド	四街道市鹿放ヶ丘284-1	H15.7.18

ラピッドカー

緊急自動車として登録されたドクターカーに救急医が同乗し、北総ドクターヘリが出動できない時間帯（日没～夜間）に出動します。

特に、医師の救急現場への派遣が必要な重症傷病者や多数傷病者発生時及び広域災害等において、日本医科大学千葉北総病院救命救急センターへホットラインを介して要請し、救急医が救急現場等において、迅速に救命医療を開始し、救急車に同乗して診療を継続しながら重症傷病者を医療機関へ搬送するための車両です。

平成22年6月7日より、日本医科大学千葉北総病院救命救急センターを基地病院として運行が開始されました。

ラピッドカー出動状況

事故種別 年	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
令和2年	17				6			2			9	
令和3年	16				4	1		1			10	
令和4年	26				7	2		1		2	14	
令和5年	20				7	1					11	1
令和6年	17				6	1		2	1		7	

応急手当の普及啓発活動

傷病者の命を救い、社会復帰に導くためには、「心停止の予防」、現場に居合わせた人による「早期認識と通報」、心肺蘇生やA E Dなどの「一次救命処置」更には救急救命士や病院での処置「二次救命処置」の4つが連続して行われること、即ち「救命の連鎖」が必要とされています。

このため、当消防本部では、市民が応急手当に関する正しい知識と技術を習得するため救命講習を実施しています。

なお、令和3年度から応急手当講習に応急手当W E B講習（e-ラーニング）を導入し、事前にW E B講習を受講することにより講習時間の短縮が可能となります。

救命講習の種別

種 別	受講対象者	主 な 普 及 項 目	講 習 時 間
普通救命講習 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)	中学生以上	成人に対する心肺蘇生法（Ⅰ・Ⅱ） 小児、乳児、新生児に対する心肺蘇生法（Ⅲ） 大出血時の止血法	Ⅰ：3時間 ※ Ⅱ：4時間 ※ Ⅲ：3時間 ※
上級救命講習	中学生以上	心肺蘇生法（小児、乳児、新生児を含む）、大出血時の止血法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法	8時間 ※
救命入門 コース	小学4年生から 中学生まで	胸骨圧迫及びA E Dの取り扱い	45分コース 90分コース

※応急手当W E B講習（e-ラーニング）を事前受講した場合、講習時間を1時間短縮する。

（上級救命講習は2時間短縮する。）

救命講習実施状況

種別 年	合 計		普通救命講習 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)		上級救命講習		救命入門コース	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
令和2年	24	516	15	163	1	18	8	335
令和3年	34 (5)	306 (36)	30 (5)	196 (36)			4	110
令和4年	28 (4)	318 (27)	21 (4)	148 (27)	2	16	5	154
令和5年	70 (12)	1,281 (99)	43 (12)	440 (99)	3	26	24	815
令和6年	67 (10)	1,203 (130)	41 (9)	476 (95)	4 (1)	84 (35)	22	643

※（ ）内は応急手当WEB講習（e-ラーニング）を表す。

救助業務

救助業務とは、消防機関が行う救助に関するすべての業務をいい、火災をはじめ交通、水難、自然災害等の事故により生命又は身体に危険が及んでおり、かつ、自らその危険を排除することができない要救助者を救助する人命救助活動を行っています。

救助隊員の状況

(令和7年4月1日現在)

階級 \ 年齢	合 計	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上
消 防 司 令 補	4					2	2
消 防 士 長	4				4		
消 防 士	12		6	5	1		
合 計	20		6	5	5	2	2

救助隊員の訓練実施状況

(令和6年中)

訓 練 内 容	実施延回数	実施延人員	一回当たり 参加人員	実施延時間
体 力 錬 成 訓 練	26	289	11.12	15時間29分
ロ ー プ 基 本 ・ 応 用 訓 練	43	732	17.02	125時間14分
検 索 ・ 救 助 訓 練				
救 助 器 具 取 扱 訓 練	4	15	3.75	14時間45分
救 助 事 象 想 定 訓 練	33	151	4.58	114時間35分
そ の 他 の 訓 練				
合 計	106	1,187	11.20	270時間3分

救助出動件数

事故種別 年	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自 事 水 然 害 災 等 害 故	機 械 事 故	建 物 等 事 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ 事 の 他 故
		建 物	建 物 以 外								
令 和 2 年	47	2		9				32			4
令 和 3 年	60	2		9		1		39			9
令 和 4 年	59	1		10				35			13
令 和 5 年	71	1		10	1		1	49			9
令 和 6 年	80	3		13				60	1		3

要救助者の状況

(令和6年中)

署所 年齢 性別	合 計		20歳未満		20歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満		50歳以上 60歳未満		60歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
消 防 署	14	14	2	2	1	1	1	1	2	2	2		6	8
千 代 田 分 署	1	1											1	1
旭 分 署	4	3		1		1			1		1		2	1
合 計	37		5		3		2		5		3		19	

指輪切断件数

年 年齢 性別	合 計		20歳未満		20歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満		50歳以上 60歳未満		60歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令 和 2 年	4	15	1			1		3		2	1	2	2	7
令 和 3 年	4	16		1	1			3		1	1	4	2	7
令 和 4 年	4	19			1	2		2	1	4		2	2	9
令 和 5 年	4	13		1					2	1	1	3	1	8
令 和 6 年	4	18		3	1		1	2		4	1	4	1	5

その他出動件数

※

年	区分	分類	合 計	危 険 物	危 険 排 除	緊 急 確 認	風 水 害	救 急 支 援	P A 連 携	警 戒	他 都 市 応 援	捜 索	そ の 他
令和 2 年	出動件数		527		23	69	1	95	315		24		
	出動人員		1,726		78	231	4	314	1,027		72		
令和 3 年	出動件数		662		22	74	3	80	440	1	40		2
	出動人員		2,218		75	239	10	272	1,493	3	120		6
令和 4 年	出動件数		913		38	68	6	103	577		119		2
	出動人員		3,044		132	217	20	348	1,963		357		7
令和 5 年	出動件数		961	1	32	67	17	101	603		136		4
	出動人員		3,134	3	100	218	68	343	1,978		408		16
令和 6 年	出動件数		1,071		30	102	2	112	639		176	1	9
	出動人員		3,779		111	356	8	424	2,317		528	3	32

※「他都市応援」の件数は、「救急件数」等の件数に含まれており、重複計上となっている。

各種業務出動状況

年	区分	分類	合 計	演 習 訓 練	広 報 指 導	警 防 調 査	火 災 調 査	特 別 警 戒	予 防 査 察	誤 報
令和 2 年	出動件数		695	303	69	207	29	56	19	12
	出動人員		3,017	1,473	278	733	109	201	76	147
令和 3 年	出動件数		1,571	478	624	177	40	72	165	15
	出動人員		5,635	2,011	2,034	597	163	242	397	191
令和 4 年	出動件数		991	419	186	157	40	37	128	24
	出動人員		4,160	1,981	757	516	143	120	328	315
令和 5 年	出動件数		1,266	597	269	167	41	37	135	20
	出動人員		5,108	2,631	1,001	579	157	121	351	268
令和 6 年	出動件数		963	404	219	225	21	35	29	30
	出動人員		4,849	2,348	869	856	101	126	109	440

※火災出動・救急出動・救助出動・その他出動を除く。

空気(酸素)呼吸器及び空気(酸素)ボンベ保有状況

○空気呼吸器

規格：M30プレッシャーデマンド型

能力：陽圧切替…自動

最高使用圧力…30MPa

警報器…ホイッスル式残量3.0Mpa

重量…4.1kg

○酸素呼吸器

規格：ドレーゲルPSS BG4 plus

能力：使用時間…公称4時間

酸素供給方式…定量/デマンド併用型、手動バイパス弁付

重量…約15kg

(令和7年4月1日現在)

品目 \ 配置先	合 計	消 防 署	千 代 田 分 署	旭 分 署
空 気 呼 吸 器	61	26	21	14
空 気 ボ ン ベ	130	53	37	40
酸 素 呼 吸 器	4	4		
酸 素 ボ ン ベ	8	8		

消防ホース保有状況

(令和7年4月1日現在)

品目 \ 配置先	合 計	消 防 署	千 代 田 分 署	旭 分 署
65mmホース	297	123	82	92
40mmホース	126	37	45	44
合 計	423	160	127	136

消防車両配置状況

(令和7年4月1日現在)

区分 所属	車 両 種 別	車 名	排 気 量 (C C)	油 種	級 別 等	乗 車 定 員	登 録 年 月 日
消 防 本 部	司 令 車	ト ヨ タ	2,360	ガソリン	—	7	H24. 2.20
	広 報 車	日 産	1,990	ガソリン	—	7	H19.10.19
	広 報 車	ト ヨ タ	1,320	ガソリン	—	5	H26. 1.15
	査 察 車	ト ヨ タ	2,690	ガソリン	—	7	H19. 2.28
消 防 署	指 揮 統 制 車	日 産	4,470	ガソリン	—	8	H18.12.22
	化学消防ポンプ自動車	日 野	7,960	軽 油	Ⅱ型/A2	5	H16. 3.26
	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	6,400	軽 油	Ⅰ-B/A2	6	H27. 3.25
	救 助 工 作 車	日 野	5,120	軽 油	Ⅱ型	6	R 3.12.27
	屈 折 は し ご 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	7,680	軽 油	20m級	5	H21. 2.27
	高 規 格 救 急 自 動 車	日 野	2,480	ガソリン	高規格	7	R 5. 3. 6
	資 機 材 搬 送 車	マ ツ ダ	1,990	ガソリン	—	3	H15.10.29
千 代 田 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	6,400	軽 油	Ⅰ-B/A2	6	H24. 3.30
	小型動力ポンプ自動車	い す ゞ	8,220	軽 油	Ⅰ型/B2	3	H15. 3.26
	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	2,690	ガソリン	高規格	7	H28. 3.18
	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	2,690	ガソリン	高規格	7	H25. 1.25
	広 報 車	ト ヨ タ	1,990	ガソリン	—	9	H26. 1.23
	水槽付消防ポンプ自動車 (非 常 用)	日 野	7,960	軽 油	Ⅰ-B/A2	6	H12. 2.16
旭 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	6,400	軽 油	Ⅰ-B/A2	5	H18. 3.28
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ	4,770	軽 油	CD-Ⅰ/A2	5	H18.11. 6
	後 方 支 援 車	い す ゞ	7,790	軽 油	Ⅰ型仕様	9	H18. 3.17
	高 規 格 救 急 自 動 車	日 産	2,480	ガソリン	高規格	7	R 3. 9.17
	高 規 格 救 急 自 動 車 (非 常 用)	ト ヨ タ	2,690	ガソリン	高規格	7	H23. 2. 8
	広 報 車	ダイハツ	650	ガソリン	—	4	H28.10.19

※消防団車両を除く。

消防水利

(各年4月1日現在)

区分 年	合 計	消 火 栓				
		小計	公 設		私 設	
			150mm以上	150mm未満	150mm以上	150mm未満
令和3年	1,296	893	427	466		
令和4年	1,302	897	428	469		
令和5年	1,307	898	429	469		
令和6年	1,310	899	429	470		
令和7年	1,316	901	430	471		

区分 年	小 計	防 火 水 槽							
		公 設				私 設			
		区分 計	100㎡以上	40㎡以上 100㎡未満	40㎡未満	区分 計	100㎡以上	40㎡以上 100㎡未満	40㎡未満
令和3年	388	310	12	242	56	78	2	71	5
令和4年	390	314	12	247	55	76	2	70	4
令和5年	394	318	12	251	55	76	2	70	4
令和6年	396	319	12	252	55	77	2	71	4
令和7年	400	320	12	255	53	80	2	74	4

区分 年	そ の 他				
	区分 小計	河川・溝等	プール	濠・池等	その他
令和3年	15		13		2
令和4年	15		13		2
令和5年	15		13		2
令和6年	15		13		2
令和7年	15		13		2

消防応援協定

(令和7年4月1日現在)

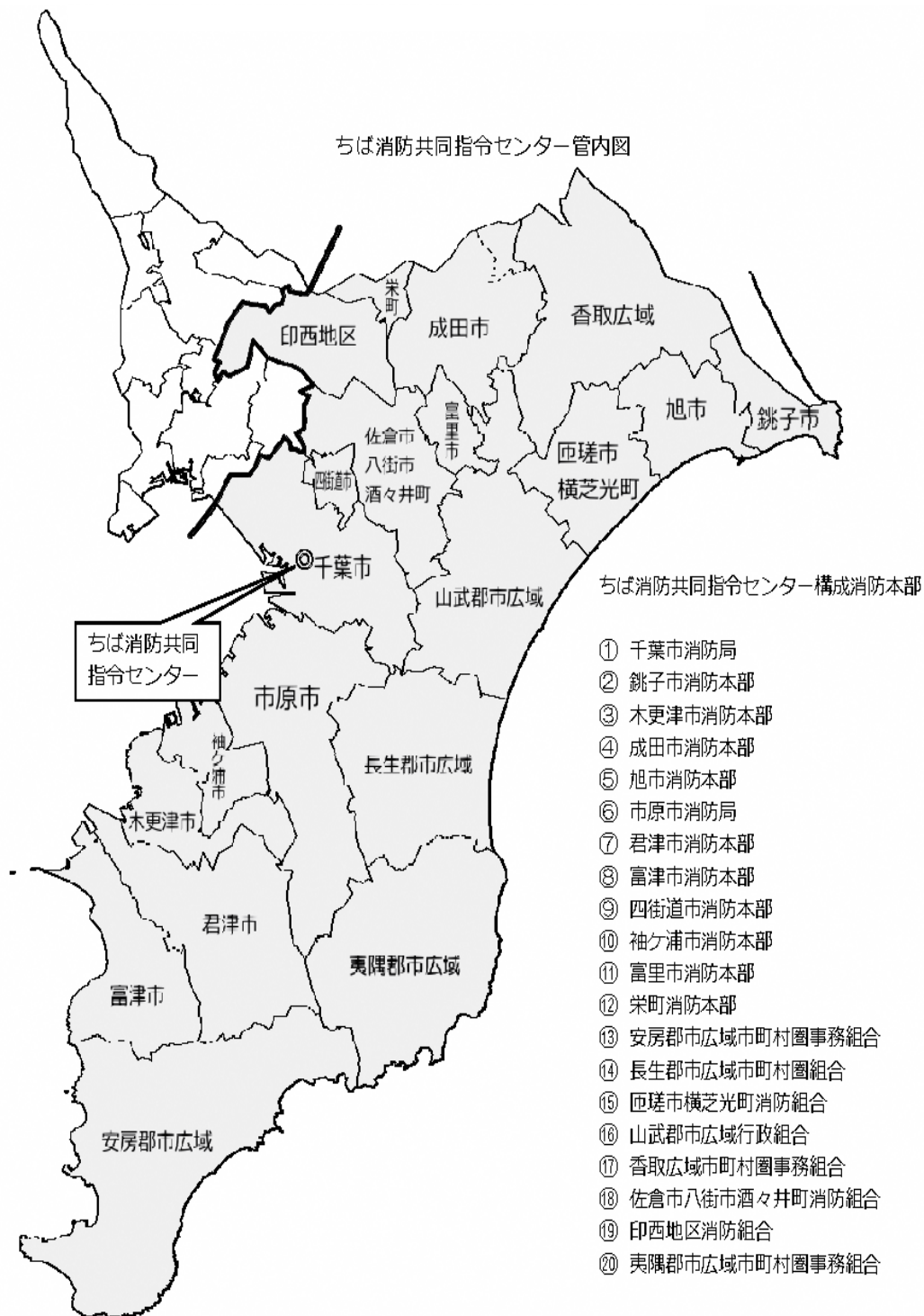
協 定 名	協 定 年 月 日	協 定 内 容 (協 定 機 関)	備 考
千葉県広域消防相互応援協定	昭和40年 7月19日	千葉県下の全市町村及び一部事務組合が、大規模災害及び産業災害等の予防、鎮圧に万全を期し、併せて民心の安定を図るため相互応援体制を確立し、不測の事態に対処する協定 (千葉県下全市町村19市65町10村)	消防組織法第39条に基づく相互応援協定
	改正昭和60年 4月 1日	団体名の変更及び一部事務組合の結成等による改正	
	改正平成 4年 4月 1日	団体名の変更及び一部事務組合の結成等並びにヘリコプターによる航空特別応援が新たに加わったことによる改正	
	改正平成15年 4月 1日	応援の種類として、火災調査等特別応援が新たに加わったことによる改正	
	改正平成18年 8月22日	消防組織法の一部を改正する法律が施行されたことによる改正	
東関東自動車道及び新空港自動車道消防相互応援協定	昭和54年10月 1日	協定区域内において災害が発生した場合に、消防隊、救急隊その他人員資機材を出動させるための協定 [千葉市、市川市、船橋市、成田市、佐倉市、習志野市、浦安町、四街道町、酒々井町、富里村]	
	改正昭和56年 4月 1日	四街道町及び浦安町の市制施行に伴う改正	
	改正昭和60年 4月 1日	富里村の町制施行、及び佐原市外5町(組)の加入に伴う改正	
	改正昭和61年 4月24日	大栄インターチェンジから佐原香取インターチェンジまでの供用開始、及びこれに係る佐原市外5町(組)の出場区域の見直しに伴う改正	
	改正昭和62年11月20日	佐原香取インターチェンジから潮来インターチェンジまでの供用開始、及び潮来町並びに鹿行地方広域市町村圏(組)の加入に伴う改正	
	改正平成 5年 4月27日	佐倉市が消防団の所管替えにより新規加入。更に、佐倉市外2町消防組合が、佐倉市八街市酒々井町消防組合に名称変更したことに伴う改正	
	改正平成18年 8月24日	佐原市、山田町、栗源町、小見川町が新設合併し香取市となり、佐原市外五町(組)が香取広域市町村圏(組)に名称変更したことに伴う改正	
	改正平成25年 4月10日	酒々井インターチェンジ開通に係る応援出動区域の見直しに伴う改正	

協 定 名	協 定 年 月 日	協 定 内 容 （ 協 定 機 関 ）	備 考
成田国際空港消防 相互応援協定	改正平成17年 5月18日	成田空港及びその周辺における航空機に関する災害又はその発生の際のある事態に際し、相互に緊密な協力のもとに消火救難活動を実施し、被害の防止又は軽減を図るための協定 [成田市、佐原市外五町(組)、佐倉市八街市酒々井町(組)、山武都市広域行政(組)、八日市場市外三町(組)、印西地区(組)、四街道市、富里市、栄町、成田国際空港(株)] 当市加入前の経過 昭和53年 3月18日 改正 平成 4年 4月 1日 改正 平成14年 4月 1日 改正 平成16年 4月 1日	消防組織法第 39条に基づく 相互応援協定
	改正平成18年 7月12日	八日市場市と野栄町が新設合併し匝瑳市、横芝町と光町が新設合併し横芝光町となり、八日市場市外三町(組)が匝瑳市横芝光町(組)に名称変更 佐原市、山田町、栗源町、小見川町が新設合併し香取市となり、佐原市外五町(組)が香取広域市町村圏(組)に名称変更したことに伴う改正	
鉄道災害時における 鉄道軌道事業者 と消防機関との連 携に関する協定	平成21年 3月31日	鉄道災害が発生し、又は発生する恐れのある場合、千葉県内の消防本部(局)と鉄道軌道事業者との相互連携により、安全かつ迅速な消防活動と公共交通機関としての列車運行の早期復旧を図るための協定 [千葉県、県下31消防本部、鉄道軌道事業者15社]	
	改正平成23年 4月 1日	県の組織改編に伴う改正	
災害時等における 消防用水の供給支 援に関する協定	平成31年 3月20日	3市域における大規模火災発生時において、民間事業者のコンクリートミキサー車を活用した消防用水の搬送体制を確保し、消防用水の補給及び消防資機材の確保について、3市が相互に協力し、迅速な消防体制を確立するための協定 [千葉市、市原市、四街道市、千葉中央生コンクリート共同組合(組合員11事業所17工場)]	

指令編

ちば消防共同指令センターの概要

ちば消防共同指令センターは、千葉県北東部・南部の20消防本部の119番通報の受信や、消防車や救急車の無線管制等の通信指令業務の運用を共同で行っています。共同運用を行うことで、業務の効率化が図られるとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模災害時の相互応援体制の充実強化が図られています。



消防通信指令施設の現況

(令和7年4月1日現在)

	種 別	名 称	説 明
ちば消防共同指令センター設備	情報共有システム	情報共有端末装置	4台(指令室、1署2分署)
		情報共有表示装置	1台(指令室)
		車両運用表示盤	3台(1署、2分署)
		車両運用表示装置	1台(指令室)
		119番ヘルプ機能用電話	2回線(指令室、署待機室)
		迂回119番受信用電話	2回線(指令室)
	指令装置関係	署所端末装置	4式(指令室、1署2分署)
		無線指令受付装置	4式(指令室、1署2分署)
		無停電電源装置	4式(指令室、1署2分署)
	駆け付け通報装置	駆け付け通報装置	3回線(1署、2分署)
		監視カメラ	3台(1署、2分署)
	指令情報装置	指令情報出力装置	4台(指令室、1署2分署)
		指令書プリンター	4台(指令室、1署2分署)
無線設備	陸上移動局	消防署活動系無線機	63基(消防本部5基、消防署27基、千代田分署15基、旭分署16基)※アナログ460MHz帯
		消防団活動系無線機	46基(消防団本部12基、消防団34基)※デジタル350MHz帯
電話設備	一般加入電話		8回線(消防本部・署6回線、両分署各1回線)
	携帯電話		13回線
	衛星携帯電話		3回線
	県防災行政無線専用電話		1回線

(令和7年4月1日現在)

消防救急 無線設備	区 分		呼称名称	局数
遠隔制御器 (消防本部)	活動波	消防波	えんせい よつかいどう しょうぼう	1
		救急波		
	主運用波	主運用波 2		
	統制波	統制波 1 ～ 3		
	近隣消防本部 活動波			

(令和7年4月1日現在)

デジタル無線設備		車載型27基		携帯型34基		携帯型(可搬)1基		携帯型(卓上)1基	
消防本部		消防署		千代田分署		旭分署		消防団	
呼出名称	車両名及び配置先	呼出名称	車両名及び配置先	呼出名称	車両名及び配置先	呼出名称	車両名及び配置先	車 載 機	
四街道本部広報1	広 報 車	四街道指揮統1	指揮統制車	四街道千代田水槽1	水 槽 車	四街道旭水槽1	水 槽 車	司 令 車	
四街道本部広報2	広 報 車	四街道指揮統2		四街道千代田水槽2	水 槽 車 (非 常 用)	四街道旭ポンプ1	ポ ン プ 車	司 令 車 (多 機 能 車)	
四街道本部予防1	査 察 車	四街道指揮統3		四街道千代田救急1	高規格救急車	四街道旭救急1	高規格救急車	受 令 機	
四街道本部支援1	後方支援車	四街道水槽1	水 槽 車	四街道千代田救急2	高規格救急車	四街道旭救急2	高規格救急車	団 本 部 (女性消防団)	
四街道本部支援2		四街道救急1	高規格救急車	四街道千代田広報1	広 報 車	四街道旭広報1	広 報 車	第 1 分 団	
四 街 道 本 部 601	総 務 課	四街道梯子1	屈折はしご車 (20M級)	四街道千代田給水1	給 水 車	四街道旭301	旭 分 署	第 2 分 団	
四 街 道 本 部 602		四街道救助1	救 助 工 作 車	四街道千代田201	千代田分署	四街道旭302		第 3 分 団	
四 街 道 本 部 603				四街道千代田202		四街道旭303		第 4 分 団	
四 街 道 本 部 604		四街道化学1	化 学 車	四街道千代田203		四街道旭304		第 5 分 団	
四 街 道 本 部 605		四街道資機材1	資機材搬送車	四街道千代田204				第 6 分 団	
四 街 道 本 部 606								第 7 分 団	
四 街 道 本 部 607		四街道501	消 防 署					第 8 分 団	
四 街 道 本 部 608								第 9 分 団	
四 街 道 本 部 609								第 10 分 団	
四 街 道 本 部 610								第 11 分 団	
四 街 道 本 部 611								第 12 分 団	
四 街 道 本 部 612								第 13 分 団	
四 街 道 本 部 701	予 防 課	四街道101	消 防 署					第 14 分 団	
四 街 道 本 部 702		四街道102 四街道103 四街道104	消 防 署					第 15 分 団	
四 街 道 本 部 703								第 16 分 団	
四 街 道 本 部 901	警 防 課	四街道105	消 防 署					第 17 分 団	
四 街 道 本 部 902		四街道106						第 18 分 団	
四 街 道 本 部 903		四街道107							
		四街道108							
		受 令 機	事 務 室	受 令 機	事 務 室	受 令 機	事 務 室		

覚知別受信状況

(令和6年中)

区 分				小 計
119	固 定	携 帯	I P	7,140
	616	4,580	1,944	
加入	固 定 I P		携 帯	103
	92		11	
警察電話（警察電話によって覚知したもの）				137
駆付け通報（駆付けにより通報を受け覚知したもの）				46
事後聞知（鎮火後に覚知したもの）				
自己覚知（消防機関が覚知したもの）				4
その他（上記以外の方法により覚知したもの）				78
合 計				7,508

(資料：ちば消防共同指令センター)

問合せ

(令和6年中)

火災問合せ	救急問合せ	病院問合せ	その他問合せ	合 計
2	54	283	166	505

(資料：ちば消防共同指令センター)

その他

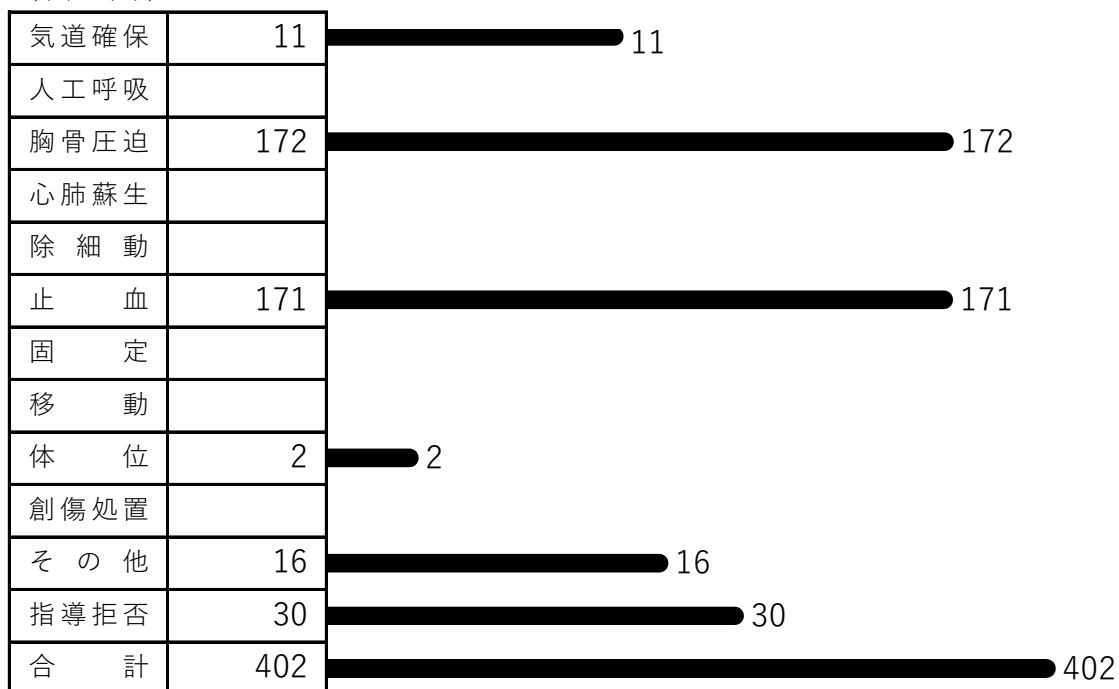
(令和6年中)

いたずら	その他	無 音	間違い	119試験	FAX	携帯転送	合 計
207	82	312	480	101	1	36	1219

(資料：ちば消防共同指令センター)

口頭指導状況

(令和6年中)



(資料：ちば消防共同指令センター)

四街道市消防本部の応受援状況

(令和6年中)

区分			月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉市 消防局	応援	救急隊		125	16	6	9	2	4	4	24	9	5	4	5	37
		消防隊														
	受援	救急隊		128	15	8	12	6	4	11	17	11	10	4	5	25
		消防隊														
佐倉市 八街市 酒々井 町消防 組合消 防本部	応援	救急隊		51	5	2	4		1	3	7	4	4	2	5	14
		消防隊														
	受援	救急隊		96	16	5	7		2	7	20	8	5	3	10	13
		消防隊														

消防団編

消防団各方面隊

団 長	第 1 方面隊 (四街道方面)	副 団 長	方面隊長	分 団 名	応援分団
			本部付分団長	第 1 分 団	第 2 分 団 第 4 分 団
				第 2 分 団	第 1 分 団 第 5 分 団
				第 3 分 団	第 5 分 団 第 12 分 団
				第 4 分 団	第 1 分 団 第 3 分 団
				第 5 分 団	第 2 分 団 第 3 分 団
				第12分 団	第17分 団 第18分 団
				第17分 団	第12分 団 第18分 団
				第18分 団	第 4 分 団 第17分 団
	第 2 方面隊 (千代田方面)	副 団 長	本部付分団長	第14分 団	第15分 団 第16分 団
				第15分 団	第14分 団 第16分 団
				第16分 団	第14分 団 第15分 団
	第 3 方面隊 (旭方面)	副 団 長	本部付分団長	第 6 分 団	第 3 分 団 第10分 団
				第 7 分 団	第 8 分 団 第 9 分 団
				第 8 分 団	第 7 分 団 第 9 分 団
				第 9 分 団	第 7 分 団 第 8 分 団
				第10分 団	第 3 分 団 第 6 分 団

階級別消防団員数

(令和7年4月1日現在)

区分	階級	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	定数
実 員		238 (23)	1	2	20 (2)	16	17 (1)	82 (5)	100 (15)	300
	機能別	14 (3)							14 (3)	

※() 内は女性消防団員を表す。

年齢階層・階級別消防団員数

(令和7年4月1日現在)

階級	年齢	合計	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上
団 本 部	団 長	1								1
	副団長	2								2
	分団長	4 (2)								4 (2)
	部 長	1 (1)								1 (1)
	班 長	5 (5)				1 (1)			1 (1)	3 (3)
	団 員	16 (15)					1 (1)	5 (4)	2 (2)	8 (8)
分 団	分団長	16					3	2	5	6
	副分団長	16			1		5	4	2	4
	部 長	16					5	1	3	7
	班 長	77		2	3	5	7	8	10	42
	団 員	84	2	5	10	6	7	7	11	36
合 計		238 (23)	2	7	14	12 (1)	28 (1)	27 (4)	34 (3)	114 (14)

※() 内は女性消防団員を表す。

分団・在職年数別消防団員数

(令和7年4月1日現在)

分団	年数	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 本 部		29 (23)	15 (14)	5 (5)	1 (1)	1	3 (3)	2	2
第 1 分 団		8	1				3	2	2
第 2 分 団		21	8	2	4	4	2		1
第 3 分 団		15	1	5	2	3	1	2	1
第 4 分 団		17	3	5	3	2	4		
第 5 分 団		17	1	3	2	1	5		5
第 6 分 団		12	1	4	3		1	3	
第 7 分 団		11		6		1		2	2
第 8 分 団		9	1		1	1		3	3
第 9 分 団		5		1			2	2	
第 10 分 団		13	2	1	5	1	1	2	1
第 12 分 団		14	2	7	1	1	1		2
第 14 分 団		12	1	1	1	2	4	2	1
第 15 分 団		10	6		2	1		1	
第 16 分 団		14	4	2		2	1	2	3
第 17 分 団		16	6	5	4	1			
第 18 分 団		15	4	5	1	1	1	1	2
合 計		238 (23)	56 (14)	52 (5)	30 (1)	22	29 (3)	24	25

※() 内は女性消防団員を表す。

職業別消防団員数

(各年度4月1日時点)

職業 年度	合 計	農 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ 水 道 業	運 輸 ・ 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 ・ 飲 食 店 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務 員 等			そ の 他
											国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	特 殊 法 人 等	
令和3年度	228	9	28	25	11	21	24	5		48		19	8	30
令和4年度	225	10	30	24	12	19	20	4		46		19	7	34
令和5年度	228	10	30	21	12	18	21	7		47		20	7	35
令和6年度	224	11	30	22	12	18	20	7		49		21	7	27
令和7年度	238	12	28	22	12	19	19	7		51		25	7	36

消防団管轄区域

(令和7年4月1日現在)

分 団	管 轄 区 域	実 員	階 級 別					
			団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長
団 本 部	四街道市全域	29	1	2	4		1	5
第 1 分 団	下志津新田、さつきヶ丘	8			1	1	1	5
第 2 分 団	四街道の一部、四街道1丁目の一部 四街道2丁目の一部、四街道3丁目	21			1	1	1	5
第 3 分 団	鹿渡、和良比の一部、みのり町 さちが丘1丁目、中央	15			1	1	1	5
第 4 分 団	四街道の一部、四街道1丁目の一部	17			1	1	1	5
第 5 分 団	和良比の一部、めいわ3丁目、4丁目 美しが丘1～3丁目、四街道2丁目の一部	17			1	1	1	5
第 6 分 団	小名木、めいわ1丁目、2丁目、5丁目	12			1	1	1	5
第 7 分 団	吉岡、鷹の台1～4丁目	11			1	1	1	5
第 8 分 団	南波佐間、和田、上野	9			1	1	1	5
第 9 分 団	南波佐間、和田、上野	5			1	1	1	2
第 10 分 団	山梨、旭ヶ丘1～5丁目、みそら1～4丁目	13			1	1	1	5
第 12 分 団	栗山、つくし座1～3丁目、さちが丘2丁目、長岡	14			1	1	1	5
第 14 分 団	物井、千代田1丁目、2丁目、4丁目、5丁目、 もねの里1～6丁目	12			1	1	1	5
第 15 分 団	亀崎、千代田3丁目	10			1	1	1	5
第 16 分 団	内黒田、萱橋、池花1丁目、2丁目	14			1	1	1	5
第 17 分 団	大日の一部、鹿放ヶ丘	16			1	1	1	5
第 18 分 団	大日の一部	15			1	1	1	5
合 計		238	1	2	20	16	17	82

消防団員年額報酬

(令和7年4月1日現在)

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額	145,000	107,000	75,000	54,000	43,000	38,000	36,500

※機能別団員には、年額報酬を支給しない。

消防団員出動報酬

(令和7年4月1日現在)

区分	水火災・その他の災害		警戒・演習訓練等
単位・金額	1日	4時間以上 8,000円	1日 2,000円
		4時間未満 4,000円	

※消防団員費用弁償（出動に係る交通費）は実費支給

消防団出動状況

(各年度4月1日時点)

種別 年度	合 計		火災		風水害		演習訓練		広報指導		警防調査		特別警戒		捜索		その他	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和3年度	73	2,760	4	39			12	139	18	416	28	1,601	5	408			6	15
令和4年度	155	3,584	7	67			90	787	21	527	26	1,652	5	376			6	17
令和5年度	156	4,084	4	13	1	65	76	1,255	38	527	26	1,718	5	418			6	88
令和6年度	145	3,711	6	60	1	101	83	650	18	562	26	1,751	5	464			6	123

消防団員表彰状況

(令和6年度)

区分	階級	合 計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
消防庁長官功労章									
消防庁長官永年勤続功労章		2					1		1
千葉県知事文化功労章									
千葉県知事特別功労章									
千葉県知事永年勤続功労章		1							1
千葉県知事功労章		2						2	
千葉県知事精勤章		4				1		1	2
千葉県防災危機管理部長章		5				1		1	3
日本消防協会長功績章									
日本消防協会長精績章									
日本消防協会長勤続章		1						1	
千葉県消防協会長特別功労章									
千葉県消防協会長永年勤続功労章		1							1
千葉県消防協会長功績章		1			1				
千葉県消防協会長功労章		1						1	
千葉県消防協会長精勤章		3			1			2	
印旛支部長功労章									
印旛支部長勤続章		3						3	
印旛支部長精勤章		2						2	
四街道市長章		7			1			2	4
四街道市消防団長章		2				1			1
合 計		35			3	3	1	15	13

消防団詰所の状況

(令和7年4月1日現在)

分団	区分	所在地	構造	建築延面積	敷地面積	建築年月
団本部 (女性消防団員)		四街道市鹿渡698-36 (旧11分団詰所) (市有地)	重量鉄骨平屋建	59.62㎡	247.41㎡	H22年 1月
第 1 分 団		四街道市下志津新田2524-52 (借地)	鉄骨2階建	48.60㎡	65.90㎡	S48年12月
第 2 分 団		四街道市四街道3-8-1 (市有地)	鉄骨2階建	85.68㎡	114.28㎡	R 2年 4月
第 3 分 団		四街道市和良比256-4 (借地)	鉄骨2階建	49.68㎡	432.56㎡	S58年 3月
第 4 分 団		四街道市四街道1522-107 (市有地)	鉄骨2階建	49.68㎡	147.74㎡	S55年11月
第 5 分 団		四街道市和良比782-1 (借地)	鉄骨2階建	49.68㎡	62.44㎡	S58年12月
第 6 分 団		四街道市小名木228・229 (市有地・一部借地)	鉄骨平屋建	47.61㎡	133.92㎡	S51年10月
第 7 分 団		四街道市吉岡882-1 (借地)	木造平屋建	49.27㎡	108.56㎡	S52年11月
第 8 分 団		四街道市上野55 (借地)	鉄骨2階建	49.68㎡	82.00㎡	S57年12月
第 9 分 団		四街道市中台533 (借地)	木造平屋建	49.27㎡	149.14㎡	S56年10月
第10分団		四街道市山梨835-3・886 (借地)	鉄骨2階建	49.68㎡	164.36㎡	S55年11月
第12分団		四街道市栗山872-1 (借地)	木造平屋建	49.27㎡	147.81㎡	S52年10月
第14分団		四街道市物井787-2 (借地)	木造平屋建	49.27㎡	155.00㎡	S52年12月
第15分団		四街道市亀崎245-1 (借地)	鉄骨平屋建	59.62㎡	283.09㎡	H25年12月
第16分団		四街道市内黒田170-1 (借地)	木造平屋建	49.69㎡	132.21㎡	S59年10月
第17分団		四街道市大日1109 (借地)	鉄骨平屋建	47.61㎡	142.83㎡	S50年 9月
第18分団		四街道市大日336-27 (市有地)	木造平屋建	49.27㎡	101.70㎡	S53年12月

消防団車両配置状況

(令和7年4月1日現在)

分団	区分	車 両 種 別	車 名	排気量 (cc)	油 種	級 別	乗車 定員	登録年月日
団 本 部		司 令 車	日 産	2,480	ガソリン	—	10	R 5. 1.19
団 本 部		司 令 車 (多 機 能 車)	日 産	2,480	軽 油	B2	6	H29.11.13
団本部 (女性消防団員)		小型動力ポンプ付積載車	日 産	1,990	ガソリン	B3	8	H 9. 8.26
第 1 分 団		小型動力ポンプ付積載車	三 菱	2,970	軽 油	B2	6	H19.10.18
第 2 分 団		消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	4,000	軽 油	A2	6	R 5. 3.10
第 3 分 団		消 防 ポ ン プ 自 動 車	トヨタ	1,990	軽 油	A2	6	R 7. 2.19
第 4 分 団		消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	4,000	軽 油	A2	6	H21.12.16
第 5 分 団		小型動力ポンプ付積載車	三 菱	2,970	軽 油	B2	6	H21. 9.17
第 6 分 団		小型動力ポンプ付積載車	三 菱	2,970	軽 油	B2	6	H20.10.24
第 7 分 団		小型動力ポンプ付積載車	三 菱	2,970	軽 油	B2	6	H21. 9.17
第 8 分 団		小型動力ポンプ付積載車	三 菱	2,970	軽 油	B2	6	H20.10.24
第 9 分 団		小型動力ポンプ付積載車	トヨタ	1,990	ガソリン	B2	6	R 6. 3.15
第10分団		消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	4,000	軽 油	A2	6	H17.12.20
第12分団		小型動力ポンプ付積載車	三 菱	2,970	軽 油	B2	6	H21.10. 1
第14分団		消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	4,000	軽 油	A2	6	H20.12.17
第15分団		消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	4,000	軽 油	A2	6	H25. 3.13
第16分団		小型動力ポンプ付積載車	三 菱	2,970	軽 油	B2	6	H21.10. 1
第17分団		小型動力ポンプ付積載車	三 菱	2,970	軽 油	B2	6	H19.10.18
第18分団		消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	4,000	軽 油	A2	6	H19. 2.16

出 前 講 座 編

生涯学習まちづくり出前講座（消防関係 3 講座）

- ◇対 象：市内在住・在勤・在学の 10 人以上の団体
- ◇開催日：通年
- ◇時 間：午前 9 時～午後 9 時（祝日・年末年始などは除く）
- ◇費 用：無料

年度	講座 件数等	合 計		見てみよう 消防署		聞いてみよう 消防署		やってみよう 消防署	
		実 施 件 数	実 施 人 数	実 施 件 数	実 施 人 数	実 施 件 数	実 施 人 数	実 施 件 数	実 施 人 数
令和 2 年度		6	330	3	177	1	128	2	25
令和 3 年度		22	772	3	211			19	561
令和 4 年度		34	1,259	5	273	2	45	27	941
令和 5 年度		47	1,748	10	444			37	1,304
令和 6 年度		46	1,585	11	468			35	1,117

生涯体験学習

市内の小・中・高等学校などを対象とし、職場体験学習を受け入れています。

消防業務の概要等の学習や、消防・救急・救助活動などの訓練を通して、児童生徒の消防への理解だけでなく、経験から得られたものを指針として将来の道を選ぶ参考とすることを目的としています。

年度	対象	合 計	小学生（人）	中学生（人）	高校生（人）	大学生（人）	その他（人）
令和 2 年度		※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、職場体験学習は中止					
令和 3 年度		※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、職場体験学習は中止					
令和 4 年度		※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、職場体験学習は中止					
令和 5 年度		2				2	
令和 6 年度		5		5			

教育実習等受入状況

将来、医師、救急救命士を目指す大学生などを対象に現場教育の受入をしています。

大学生などが救急車に同乗し、実際に現場活動を体験することや、消防職員として必要な消防、救助活動訓練など消防機関で行う基本的かつ代表的な訓練を体験することで、将来の職業選択の参考として消防への理解を深めてもらうことを目的としています。

年度	対象	合 計	性 別	年 齢					
				18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳～
令和 2 年度	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、教育実習等の受入は中止								
令和 3 年度	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、教育実習等の受入は中止								
令和 4 年度	5	男 性	5			2	3		
		女 性							
令和 5 年度	35	男 性	27	1	9	15	2		
		女 性	8	1	3	1	2		1
令和 6 年度	22	男 性	19		9	3	6		1
		女 性	3		1	1	1		



千葉県の笑くぼ

**消防年報 2024年度版
(2025年刊行)**

令和7年6月刊行

四街道市消防本部

〒284-0003

千葉県四街道市鹿渡934番地26

TEL:043-422-0119 (代表)

FAX:043-423-7650